

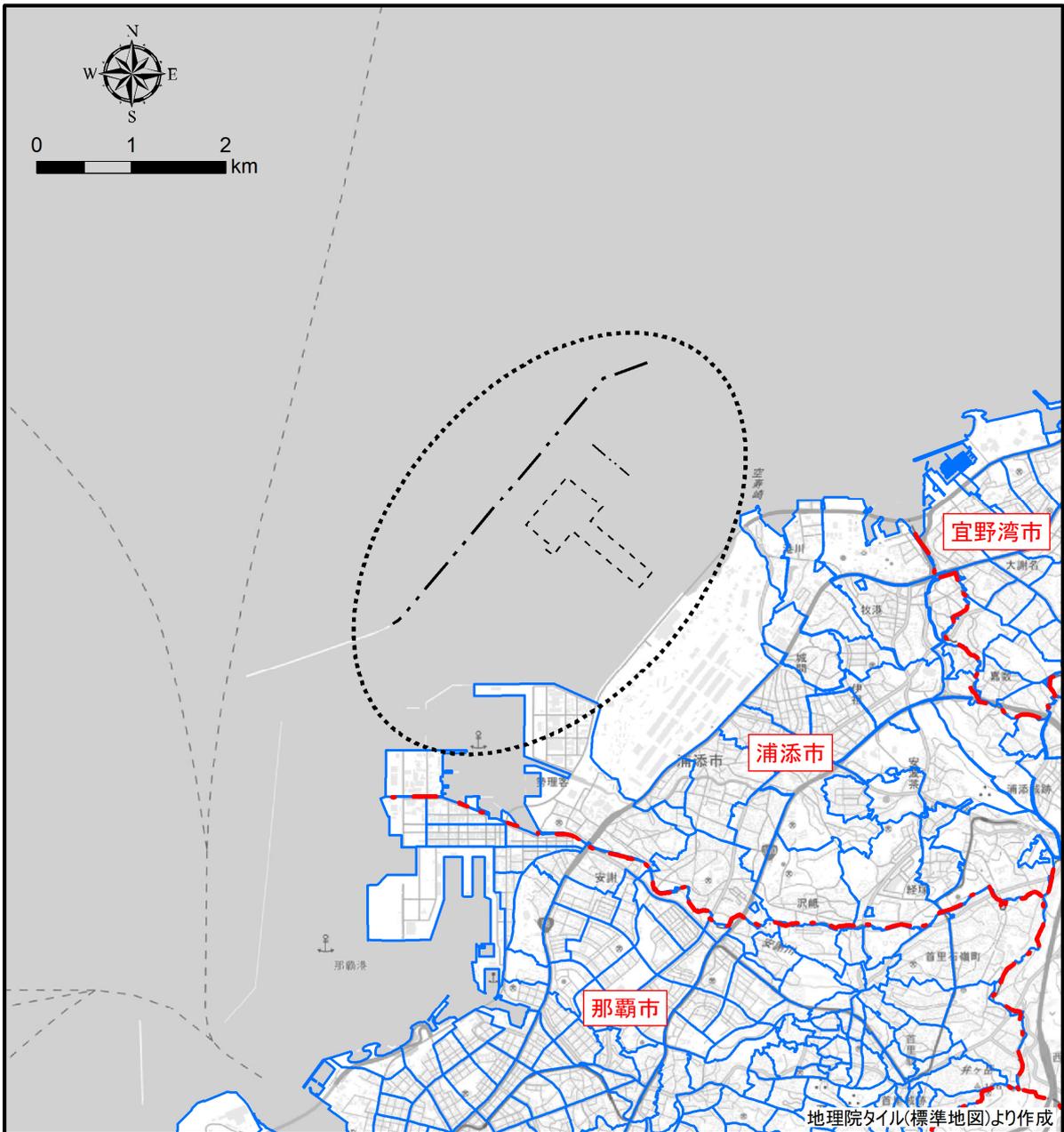
3.2 社会的状況

3.2.1 行政区画

(1) 市町村界及び行政区界

浦添市、宜野湾市及び那覇市は、沖縄本島中南部に位置し、東シナ海に面する西海岸沿いに位置する。

対象地域における行政区画は図 3.2.1-1 に示すとおりである。



凡例

事業実施想定区域

※自然的環境を保全する区域は除く

代替施設

防波堤

市町村界

行政区界

※宜野湾市と那覇市は字界、浦添市は自治会境界を示す。

図 3.2.1-1 行政区域図

3.2.2 人口

(1) 人口動態及び世帯数

浦添市、宜野湾市及び那覇市の人口と世帯数は、表 3.2.2-1 に示すとおりである。令和 3 年現在の人口は、浦添市が 116,091 人、宜野湾市が 100,075 人、那覇市が 315,478 人となっている。世帯数は、浦添市が 48,038 世帯、宜野湾市が 44,561 世帯、那覇市が 145,327 世帯となっている。平成 13 年からの推移をみると、人口と世帯数は、3 市ともに増加傾向である。

表 3.2.2-1 人口及び世帯数の推移

市区	項目	平成 13 年	平成 18 年	平成 23 年	平成 28 年	令和 3 年	増加率(%) (H13/R3)	
浦添市	人口 (人)	総数	103,355	106,869	111,026	114,207	116,091	112
		男	50,782	52,474	54,218	55,415	56,152	111
		女	52,573	54,395	56,808	58,792	59,939	114
	世帯数(世帯)	36,581	39,135	41,690	44,552	48,038	131	
宜野湾市	人口 (人)	総数	87,716	90,374	92,913	96,903	100,075	114
		男	43,137	44,033	45,147	47,315	48,796	113
		女	44,579	46,341	47,766	49,588	51,279	115
	世帯数(世帯)	32,712	35,427	37,121	40,115	44,561	136	
那覇市	人口 (人)	総数	302,829	313,498	317,645	319,870	315,478	104
		男	145,736	150,875	152,663	155,027	153,038	105
		女	157,093	162,623	164,982	164,843	162,440	103
	世帯数(世帯)	114,103	124,893	131,807	137,886	145,327	127	

注) 各年 10 月 1 日現在

出典：第 45～65 回沖縄県統計年鑑(平成 13 年度版～令和 4 年度版)(平成 13 年 3 月～令和 5 年 3 月、沖縄県企画部統計課)

(2) 人口密度

浦添市、宜野湾市及び那覇市の人口密度は、表 3.2.2-2 に示すとおりである。

令和 2 年現在の人口密度は浦添市が約 5,933 人/km²、宜野湾市が約 5,057 人/km²、那覇市が約 7,668 人/km²となっている。平成 12 年からの推移をみると、浦添市、宜野湾市は増加傾向にあり、那覇市は、平成 27 年までは増加傾向にあったが、令和 2 年にかけて減少傾向に転じている。

表 3.2.2-2 人口密度の推移

市区	人口密度 (人/km ²)				
	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	令和 2 年
浦添市	5,390.0	5,555.2	5,780.6	5,864.1	5,932.8
宜野湾市	4,446.1	4,559.1	4,666.4	4,860.8	5,056.8
那覇市	7,722.7	7,961.1	8,051.8	8,072.7	7,668.4

出典：国勢調査_都道府県・市区町村別の主な結果(総務省統計局 HP)

全国都道府県市区町村別面積調(国土交通省国土地理院 HP)

(3) 人口分布

浦添市の人口分布は表 3.2.2-3 に、宜野湾市の人口分布は表 3.2.2-4 に、那覇市の人口分布は表 3.2.2-5 に示すとおりである。

浦添市の行政区別では宮城が 9,637 人で最も多く、次いで内間が 9,238 人、前田が 5,735 人の順が多い。

宜野湾市の行政区別では長田が 10,117 人で最も多く、次いで真栄原が 9,758 人、我如古が 8,611 人の順が多い。

那覇市の町丁字別では、字国場が 11,019 人で最も多く、次いで首里石嶺町 4 丁目が 9,130 人、字小禄が 8,806 人の順が多い。

表 3.2.2-3 浦添市の人口分布

(令和 6 年 3 月末現在)

番号	行政区名	人口 (人)	番号	行政区名	人口 (人)	番号	行政区名	人口 (人)
1	仲間	2,935	15	前田	5,735	29	港川崎原	133
2	安波茶	1,426	16	西原一区	2,271	30	上野	933
3	伊祖	3,865	17	西原二区	2,869	31	マチナトタウン	1,496
4	牧港	5,161	18	当山	1,786	32	神森	1,167
5	港川	5,714	19	大平	4,652	33	浦西	1,744
6	城間	4,545	20	広栄	748	34	安川	582
7	屋富祖	4,133	21	茶山	967	35	当山ハイツ	1,113
8	宮城	9,637	22	緑ヶ丘	2,061	36	浦添ハイツ	269
9	仲西	3,163	23	浦城	4,253	37	県営経塚団地	279
10	小湾	4,577	24	浦添 ニュータウン	1,912	38	浦添市街地住宅	325
11	勢理客	4,271	25	牧港ハイツ	322	39	県営沢岬高層住宅	236
12	内間	9,238	26	浦添 グリーンハイツ	1,878	40	陽迎橋	3,228
13	沢岬	4,259	27	浅野浦	5,195	41	県営港川団地	319
14	経塚	5,229	28	前田公務員宿舎	141	42	キャンプキンザー	58

出典：浦添市の人口_指定区別人口調（浦添市 HP）

表 3.2.2-4 宜野湾市の人口分布

(令和 6 年 3 月末現在)

番号	行政区名	人口 (人)	番号	行政区名	人口 (人)	番号	行政区名	人口 (人)
1	野嵩 1 区	5,705	8	喜友名	3,474	15	真栄原	9,758
2	野嵩 2 区	789	9	伊佐	4,187	16	我如古	8,611
3	野嵩 3 区	1,124	10	大山	7,826	17	長田	10,117
4	普天間 1 区	945	11	真志喜	7,661	18	宜野湾	6,338
5	普天間 2 区	578	12	宇地泊	4,500	19	愛知区	6,416
6	普天間 3 区	1,955	13	大謝名	5,605	20	中原	5,434
7	新城	3,718	14	嘉数	5,264	21	キャンプフォスター	4

出典：宜野湾市人口統計_宜野湾市行政区別人口（宜野湾市 HP）

表 3.2.2-5(1) 那覇市の人口分布

(令和6年3月末現在)

番号	町丁字名	人口 (人)	番号	町丁字名	人口 (人)	番号	町丁字名	人口 (人)
1	曙1丁目	1,448	46	樋川2丁目	1,301	91	識名2丁目	986
2	曙2丁目	1,347	47	前島1丁目	1,185	92	識名3丁目	2,193
3	曙3丁目	2,087	48	前島2丁目	1,686	93	識名4丁目	763
4	旭町	180	49	前島3丁目	1,105	94	字大道	3,233
5	字安謝	3,506	50	牧志1丁目	1,330	95	字仲井真	4,599
6	安謝1丁目	1,933	51	牧志2丁目	2,129	96	長田1丁目	1,871
7	安謝2丁目	2,951	52	牧志3丁目	2,008	97	長田2丁目	5,125
8	字天久	2,610	53	松尾1丁目	1,571	98	繁多川1丁目	2,580
9	天久1丁目	2,118	54	松尾2丁目	2,440	99	繁多川2丁目	1,528
10	天久2丁目	2,935	55	松山1丁目	948	100	繁多川3丁目	1,535
11	泉崎2丁目	1,790	56	松山2丁目	879	101	繁多川4丁目	1,668
12	泉崎1丁目	1,198	57	港町1丁目	0	102	繁多川5丁目	2,122
13	字上之屋	1,207	58	港町2丁目	277	103	字古島	235
14	上之屋1丁目	1,659	59	港町3丁目	0	104	古島1丁目	1,393
15	奥武山町	204	60	港町4丁目	6	105	古島2丁目	1,877
16	おもろまち1丁目	1,191	61	字銘苺	1,083	106	字真地	3,550
17	おもろまち2丁目	1,434	62	銘苺1丁目	2,137	107	真嘉比1丁目	1,787
18	おもろまち3丁目	1,250	63	銘苺2丁目	1,737	108	真嘉比2丁目	2,692
19	おもろまち4丁目	2,349	64	銘苺3丁目	1,836	109	真嘉比3丁目	1,431
20	久米1丁目	1,362	65	山下町	2,194	110	松島1丁目	1,330
21	久米2丁目	1,676	66	若狭1丁目	830	111	松島2丁目	950
22	久茂地1丁目	99	67	若狭2丁目	1,263	112	字松川	2,934
23	久茂地2丁目	909	68	若狭3丁目	1,901	113	松川1丁目	1,358
24	久茂地3丁目	512	69	垣花町	0	114	松川2丁目	1,281
25	古波蔵3丁目	3,361	70	垣花町1丁目	0	115	松川3丁目	2,206
26	古波蔵4丁目	846	71	垣花町2丁目	0	116	三原1丁目	2,204
27	楚辺1丁目	1,451	72	垣花町3丁目	58	117	三原2丁目	2,760
28	楚辺2丁目	2,637	73	住吉町1丁目	0	118	三原3丁目	1,539
29	楚辺3丁目	534	74	住吉町2丁目	0	119	字寄宮	513
30	辻1丁目	1,567	75	住吉町3丁目	0	120	寄宮1丁目	1,517
31	辻2丁目	869	76	古波蔵1丁目	2,798	121	寄宮2丁目	2,451
32	辻3丁目	0	77	古波蔵2丁目	1,794	122	寄宮3丁目	1,594
33	壺川1丁目	1,349	78	壺屋2丁目	1,823	123	首里赤田町1丁目	328
34	壺川2丁目	1,402	79	字与儀	3,256	124	首里赤田町2丁目	344
35	壺川3丁目	833	80	与儀1丁目	1,322	125	首里赤田町3丁目	175
36	壺屋1丁目	2,051	81	与儀2丁目	1,549	126	首里赤平町1丁目	335
37	泊1丁目	3,109	82	字安里	3,725	127	首里赤平町2丁目	669
38	泊2丁目	1,729	83	安里1丁目	599	128	首里池端町	137
39	泊3丁目	1,581	84	安里2丁目	917	129	首里石嶺町1丁目	2,794
40	通堂町	0	85	安里3丁目	947	130	首里石嶺町2丁目	5,835
41	西1丁目	1,304	86	字上間	3,738	131	首里石嶺町3丁目	3,727
42	西2丁目	1,111	87	上間1丁目	934	132	首里石嶺町4丁目	9,130
43	西3丁目	1,263	88	字国場	11,019	133	首里大名町1丁目	1,643
44	東町	1,107	89	字識名	1,421	134	首里大名町2丁目	808
45	樋川1丁目	2,506	90	識名1丁目	1,999	135	首里大名町3丁目	1,896

出典：毎月町丁字別人口表（那覇市HP）

表 3.2.2-5(2) 那覇市の人口分布

(令和6年3月末現在)

番号	町丁字名	人口 (人)	番号	町丁字名	人口 (人)	番号	町丁字名	人口 (人)
136	首里大中町1丁目	391	164	首里当蔵町2丁目	580	192	小禄4丁目	1,752
137	首里大中町2丁目	223	165	首里当蔵町3丁目	55	193	小禄5丁目	1,275
138	首里金城町1丁目	503	166	首里桃原町1丁目	395	194	字鏡水	495
139	首里金城町2丁目	385	167	首里桃原町2丁目	408	195	鏡原町	1,805
140	首里金城町3丁目	286	168	首里鳥堀町1丁目	158	196	字具志	0
141	首里金城町4丁目	1,022	169	首里鳥堀町2丁目	297	197	具志1丁目	1,705
142	首里儀保町1丁目	299	170	首里鳥堀町3丁目	565	198	具志2丁目	1,669
143	首里儀保町2丁目	216	171	首里鳥堀町4丁目	2,440	199	具志3丁目	2,272
144	首里儀保町3丁目	352	172	首里鳥堀町5丁目	965	200	字高良	0
145	首里儀保町4丁目	415	173	首里真和志町1丁目	183	201	高良1丁目	798
146	首里久場川町1丁目	1,237	174	首里真和志町2丁目	137	202	高良2丁目	1,569
147	首里久場川町2丁目	2,430	175	首里山川町1丁目	1,235	203	高良3丁目	613
148	首里崎山町1丁目	610	176	首里山川町2丁目	480	204	字田原	1,914
149	首里崎山町2丁目	202	177	首里山川町3丁目	563	205	田原1丁目	1,055
150	首里崎山町3丁目	459	178	字赤嶺	0	206	田原2丁目	323
151	首里崎山町4丁目	615	179	赤嶺1丁目	1,331	207	田原3丁目	1,928
152	首里寒川町1丁目	810	180	赤嶺2丁目	1,713	208	田原4丁目	549
153	首里寒川町2丁目	782	181	字宇栄原	3,118	209	字当間	1,070
154	首里末吉町1丁目	696	182	宇栄原1丁目	1,989	210	字宮城	0
155	首里末吉町2丁目	1,262	183	宇栄原2丁目	1,510	211	宮城1丁目	1,336
156	首里末吉町3丁目	1,498	184	宇栄原3丁目	2,963	212	字安次嶺	293
157	首里末吉町4丁目	419	185	宇栄原4丁目	2,148	213	字大嶺	0
158	首里平良町1丁目	1,046	186	宇栄原5丁目	427	214	金城1丁目	929
159	首里平良町2丁目	521	187	宇栄原6丁目	755	215	金城2丁目	1,832
160	首里汀良町1丁目	373	188	字小禄	8,806	216	金城3丁目	524
161	首里汀良町2丁目	455	189	小禄1丁目	3,885	217	金城4丁目	458
162	首里汀良町3丁目	1,074	190	小禄2丁目	819	218	金城5丁目	1,471
163	首里当蔵町1丁目	578	191	小禄3丁目	808			

出典：毎月町丁字別人口表（那覇市HP）

3.2.3 産業

(1) 産業構造及び産業人口

浦添市、宜野湾市及び那覇市の産業構造及び産業別就業者数の状況は表3.2.3-1に示すとおりである。

令和2年現在の浦添市の産業別就業者数は、第1次産業が172人(0.4%)、第2次産業が5,781人(12.9%)、第3次産業が36,730人(81.7%)となっている。

宜野湾市の産業別就業者数は、第1次産業が264人(0.7%)、第2次産業が4,906人(13.6%)、第3次産業が29,268人(81.1%)となっている。

那覇市の産業別就業者数は、第1次産業が824人(0.7%)、第2次産業が12,244人(9.7%)、第3次産業が107,615人(85.5%)となっている。

浦添市、宜野湾市及び那覇市ともに、第3次産業を中心とした産業構造となっている。中でも「卸売業、小売業」、「医療、福祉」、「サービス業(他に分類されないもの)」の占める割合が高い。

表 3.2.3-1 産業構造及び産業別就業者数

(令和2年10月1日現在)

産業大分類	浦添市		宜野湾市		那覇市	
	総数 (人)	構成比 (%)	総数 (人)	構成比 (%)	総数 (人)	構成比 (%)
全産業総数	44,947	100.0	36,086	100.0	125,837	100.0
第1次産業	172	0.4	264	0.7	824	0.7
林業	2	0.0	1	0.0	18	0.0
農業	130	0.3	220	0.6	664	0.5
漁業	40	0.1	43	0.1	142	0.1
第2次産業	5,781	12.9	4,906	13.6	12,244	9.7
鉱業、採石業、砂利採取業	9	0.0	9	0.0	22	0.0
建設業	3,673	8.2	3,338	9.3	7,356	5.8
製造業	2,099	4.7	1,559	4.3	4,866	3.9
第3次産業	36,730	81.7	29,268	81.1	107,615	85.5
電気・ガス・熱供給・水道業	300	0.7	254	0.7	641	0.5
情報通信業	1,559	3.5	1,154	3.2	5,078	4.0
運輸業、郵便業	2,252	5.0	1,502	4.2	6,680	5.3
卸売業、小売業	7,591	16.9	5,915	16.4	19,263	15.3
金融業、保険業	1,236	2.7	721	2.0	4,143	3.3
不動産業、物品賃貸業	1,186	2.6	914	2.5	4,343	3.5
学術研究、専門・技術サービス業	1,859	4.1	1,411	3.9	5,382	4.3
宿泊業、飲食サービス業	2,714	6.0	2,446	6.8	10,344	8.2
生活関連サービス業、娯楽業	1,511	3.4	1,377	3.8	4,406	3.5
教育、学習支援業	2,691	6.0	2,589	7.2	7,244	5.8
医療、福祉	7,039	15.7	5,578	15.5	17,349	13.8
複合サービス事業	282	0.6	250	0.7	963	0.8
サービス業 (他に分類されないもの)	4,313	9.6	3,496	9.7	12,146	9.7
公務(他に分類されるものを除く)	2,197	4.9	1,661	4.6	9,633	7.7
分類不能の産業	2,264	5.0	1,648	4.6	5,154	4.1

注：数値は、四捨五入した値のため、合計と総数の値は一致しない場合がある。

出典：第66回沖縄県統計年鑑(令和5年版)(沖縄県企画部統計課HP)

(2) 生産品目及び生産額

1) 農林業

浦添市、宜野湾市及び那覇市の農家戸数、耕地面積、農業産出額は、表 3.2.3-2～表 3.2.3-4 に示すとおりである。

農家戸数は、浦添市、宜野湾市では、販売農家と自給的農家は同程度、那覇市では販売農家が自給的農家より多くなっている。

耕地面積は、浦添市及び那覇市ともに田は存在せず畑のみとなっており、両市とも10ha未満である。宜野湾市は、田が少し多く20ha、畑が16haとなっている。

農業産出額は、浦添市では7,000万円、宜野湾市では6億3,000万円、那覇市では3億1,000万円であり、分類別では3市ともに、畜産よりも耕種の産出額が多くなっている。

表 3.2.3-2 農家戸数

(令和2年2月1日現在)

市区	農家総数 (戸)	販売農家 (戸)	自給的農家 (戸)
浦添市	44	20	24
宜野湾市	64	32	32
那覇市	93	62	31

出典：第66回沖縄県統計年鑑（令和5年版）（沖縄県企画部統計課HP）

表 3.2.3-3 耕地面積

(毎年7月15日現在)

市区	年次	総面積 (ha)	田 (ha)	畑 (ha)
浦添市	平成30年	6	-	6
	平成31(令和元)年	6	-	6
	令和2年	5	-	5
	令和3年	5	-	5
	令和4年	5	-	5
	令和5年	5	-	5
宜野湾市	平成30年	42	21	21
	平成31(令和元)年	43	21	22
	令和2年	41	21	20
	令和3年	38	19	19
	令和4年	38	20	18
	令和5年	36	20	16
那覇市	平成30年	5	-	5
	平成31(令和元)年	5	-	5
	令和2年	4	-	4
	令和3年	4	-	4
	令和4年	4	-	4
	令和5年	4	-	4

出典：第47次～第52次沖縄農林水産統計年報（内閣府沖縄総合事務局農林水産部統計調査課HP）

表 3.2.3-4 農業産出額（令和4年）

分類		浦添市 (千万円)	宜野湾市 (千万円)	那覇市 (千万円)
耕種	米	-	-	-
	麦類	-	-	-
	雑穀	-	-	-
	豆類	-	0	-
	いも類	0	0	1
	野菜	0	55	19
	果実	2	1	5
	花き	X	2	X
	工芸農作物	1	0	2
	茶	-	-	-
	その他作物	X	-	X
	小計	5	59	29
畜産	肉用牛	2	1	2
	乳用牛	-	0	-
	生乳	-	0	-
	豚	-	X	X
	鶏	-	-	-
	鶏卵	-	-	-
	ブロイラー	-	-	-
	その他畜産物	0	X	X
小計	2	4	2	
加工農産物		0	0	0
合計		7	63	31

注：表中の X は秘匿数値、-は該当なし、0 は単位未満の数値を示す。

出典：令和4年 市町村別農業産出額（推計）

（令和6年3月 農林水産省大臣官房統計部経営・構造統計課）

2) 水産業

浦添市、宜野湾市及び那覇市の漁業経営体数、海面漁業の漁業種別漁獲量、海面養殖業の漁業種別収穫量は、表 3.2.3-5～表 3.2.3-7 に示すとおりである。

漁業経営体数は、浦添市では全てが個人経営体となっており、宜野湾市と那覇市でも個人経営体が主となっている。

海面漁業の漁業種別漁獲量は、沖縄県では、近海まぐろはえ縄の割合が高くなっている。平成 30 年のデータでは、浦添市、那覇市においては、近海まぐろはえ縄、沿岸まぐろはえ縄が多くを占めており、宜野湾市においては、沿岸いか釣り、近海まぐろはえ縄が多くを占めている。

海面養殖業の漁業種別収穫量は、沖縄県ではもずく類が最も多い。平成 30 年の結果では、浦添市、那覇市においては、その他の海藻類の収穫があり、宜野湾市においては、その他の魚類、その他の海藻類の収穫がある。

表 3.2.3-5 漁業経営体数（平成 30 年）

市区	総数	個人経営体	個体経営体					小計
			会社	漁業協同組合	漁業生産組合	共同経営	その他	
浦添市	41	41	-	-	-	-	-	-
宜野湾市	64	63	1	-	-	-	-	1
那覇市	119	114	4	-	-	1	-	5

注：表中の-は該当なしを示す。

出典：第 52 次沖縄農林水産統計年報（令和 6 年 4 月 内閣府沖縄総合事務局農林水産部統計調査課）

表 3.2.3-6 海面漁業の漁業種別漁獲量

漁業種類	令和 4 年	平成 30 年		
	沖縄県(t)	浦添市 (t)	宜野湾市(t)	那覇市 (t)
その他の刺網	120	X	X	0
大型定置網	144	-	-	-
小型定置網	23	-	-	-
その他の網漁業	89	-	-	-
遠洋まぐろはえ縄	X	-	-	X
近海まぐろはえ縄	3,700	250	92	4,691
沿岸まぐろはえ縄	927	125	53	616
その他のはえ縄	X	0	X	X
近海かつお 1 本釣り	-	-	-	-
沿岸かつお 1 本釣り	281	-	-	X
沿岸いか釣り	1,545	84	174	140
ひき縄釣り	1,671	X	0	X
その他の釣り	1,543	9	11	218
採貝・採藻	-	-	-	X
その他の漁業	589	21	8	91
合計	10,689	490	338	5,788

注 1：表中の X は秘匿数値、-は該当なし、0 は単位未満の数値を示す。

注 2：平成 30 年で市町村別統計が廃止となっており、平成 31(令和元)年度以降は沖縄県の数値のみとなっている。

出典：第 48 次沖縄農林水産統計年報（平成 30 年～令和元年）（令和 2 年 3 月 内閣府沖縄総合事務局農林水産部統計調査課）

第 52 次沖縄農林水産統計年報（令和 6 年 4 月 内閣府沖縄総合事務局農林水産部統計調査課）

表 3.2.3-7 海面養殖業の漁業種別収穫量

養殖業種類	令和4年	平成30年		
	沖縄県(t)	浦添市(t)	宜野湾市(t)	那覇市(t)
まだい	3	-	-	-
くろまぐろ	X	-	-	-
その他の魚類	279	-	X	-
貝類	1	-	-	-
くるまえば	372	-	-	-
その他の水産動物類	X	-	-	-
のり類	75	-	-	-
もずく類	15,172	-	-	-
その他の海藻類	355	X	X	X
真珠	X	-	-	-
合計	16,865	X	X	X

注1：表中のXは秘匿数値、-は該当なしを示す。

注2：平成30年で市町村別統計が廃止となっており、平成31(令和元)年度以降は沖縄県の数値のみとなっている。

出典：第48次沖縄農林水産統計年報(平成30年～令和元年)(令和2年3月 内閣府沖縄総合事務局農林水産部統計調査課)

第52次沖縄農林水産統計年報(令和6年4月 内閣府沖縄総合事務局農林水産部統計調査課)

3) 製造業

浦添市、宜野湾市及び那覇市の製造業の状況は、表 3.2.3-8 に示すとおりである。
事業所数、従業者数は、3 市ともに食料品製造業が最も多い。

製造品出荷額等は、3 市ともに食料品製造業が最も多く、次いで浦添市、那覇市では飲料・たばこ・飼料製造業、宜野湾市では窯業・土石製品製造業が多い。

表 3.2.3-8 製造業の状況（令和 4 年）

産業中分類	浦添市			宜野湾市			那覇市		
	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	製造品 出荷額等 (万円)	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	製造品 出荷額等 (万円)	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	製造品 出荷額等 (万円)
食料品製造業	25	1,563	3,136,896	9	453	556,483	27	1,189	1,753,771
飲料・たばこ・飼料製造業	6	373	1,469,690	2	8	X	4	112	268,336
繊維工業	-	-	-	3	87	46,959	11	106	75,464
木材・木製品製造業 (家具・装備品を除く)	1	11	X	-	-	-	1	5	X
家具・装備品製造業	3	39	46,938	-	-	-	2	18	X
パルプ・紙・紙加工 品製造業	1	1	X	-	-	-	-	-	-
印刷・同関連業	8	95	122,703	3	39	35,145	15	196	159,621
化学工業	-	-	-	1	7	X	3	23	8,982
プラスチック製品 製造業 (別掲を除く)	1	5	X	-	-	-	1	15	X
窯業・土石製品製造 業	6	105	467,454	3	56	138,541	5	93	203,066
鉄鋼業	1	128	X	-	-	-	-	-	-
非鉄金属製造業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
金属製品製造業	5	81	49,095	2	71	X	4	21	198,973
業務用機械器具製 造業	-	-	-	-	-	-	3	15	18,817
電気機械器具製 造業	1	54	X	-	-	-	-	-	-
情報通信機械器具 製造業	-	-	-	-	-	-	1	12	X
輸送用機械器具製 造業	2	13	X	-	-	-	2	20	X
その他の製造業	6	80	84,836	2	27	X	10	130	150,092
合計	66	2,548	5,903,343	25	748	846,897	89	1,955	2,922,830

注 1：事業所数、従業者数については令和 4（2022）年 6 月 1 日現在、製造品出荷額等については令和 3（2021）年 1 月～令和 3（2021）年 12 月の実績により調査している。

注 2：「-」は該当値なし

注 3：「X」は、集計対象となる事業所が 1 又は 2 であるため、これをそのまま掲げると個々の報告者の秘密が漏れるおそれがあるため秘匿した箇所である。また、集計対象が 3 以上の事業所に関する数値であっても、集計対象が 1 又は 2 の事業所の数値が合計との差し引きで判明する箇所は、併せて「X」とした。

出典：2022 年経済構造実態調査（製造事業所調査）（令和 6 年 1 月、総務省統計局統計調査部経済統計課）

4) 商業

浦添市、宜野湾市及び那覇市の商業の状況は、表 3.2.3-9 に示すとおりである。

事業所数は、3市ともにその他の小売業が最も多い。

従業者数は、浦添市では飲食料品卸売業、飲食料品小売業が多い。宜野湾市と那覇市では、飲食料品小売業、その他の小売業が多い。

年間商品販売額は、浦添市では飲食料品卸売業が最も多く、次いでその他の卸売業が多い。宜野湾市では機械器具卸売業が最も多く、次いで飲食料品小売業が多い。那覇市では建築材料、鉱物・金属材料等卸売業が最も多く、次いで、機械器具卸売業が多い。

表 3.2.3-9 商業の状況（令和3年）

令和3年6月1日現在

産業分類	浦添市			宜野湾市			那覇市		
	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	年間商品 販売額 (百万円)	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	年間商品 販売額 (百万円)	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	年間商品 販売額 (百万円)
卸売業計	347	6,649	403,643	153	2,039	111,116	753	6,416	523,424
各種商品卸売業	3	107	6,638	1	2	X	6	54	6,376
繊維・衣服等卸売業	8	49	1,157	5	20	567	39	145	2,207
飲食料品卸売業	101	3,028	193,164	26	716	23,212	181	1,893	129,907
建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	44	1,135	60,408	39	319	15,712	126	912	147,834
機械器具卸売業	111	1,324	68,066	39	485	27,592	202	1,923	142,377
その他の卸売業	80	1,006	74,210	43	497	X	199	1,489	94,724
小売業計	711	7,617	160,053	585	4,256	76,102	2,414	16,931	303,439
各種商品小売業	2	429	X	5	360	9,320	10	1,354	36,895
織物・衣服・身の回り品小売業	123	600	7,707	71	240	2,716	434	1,534	18,155
飲食料品小売業	198	2,876	42,243	142	1,793	25,442	784	7,285	97,208
機械器具小売業	104	1,245	45,287	127	449	10,092	212	1,211	54,671
その他の小売業	245	1,860	X	218	1,148	17,103	897	4,847	78,743
無店舗小売業	39	607	13,123	22	266	11,429	77	700	17,768
合計	1,058	14,266	563,696	738	6,295	187,218	3,167	23,347	826,864

注1：管理、補助的経済活動のみを行う事業所、産業細分類が格付不能の法人組織の事業所又は産業小分類が格付不能の個人経営（法人でない団体を含む）の事業所、卸売の商品販売額（仲立手数料を除く）、小売の商品販売額及び仲立手数料のいずれの金額も無い法人組織の事業所は含まない。

注2：従業者数とは、「個人業主」、「無給家族従業者」、「有給役員」及び「常用雇用者」の計であり「臨時雇用者」は含めていない。

出典：令和3年経済センサス-活動調査（令和5年3月 総務省統計局統計調査部経済統計課）

5) 観光

沖縄県の入域観光客の推移は、表 3.2.3-10 に示すとおりである。

沖縄県の入域観光客は、平成 31（令和元）年度後半に新型コロナウイルス感染症の影響により減少に転じ、令和 2 年度は過去最大の減少率となった。また、令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響から、航空路線の運休やクルーズ船の運航停止、外国からの入国制限措置がとられたことにより外国人観光客数は 0 人となった。令和 3 年度も、令和 2 年度に引き続き外国人観光客数は 0 人となったが、国内観光客数が微増したために、対前年度比は、3 年ぶりに増加に転じた。令和 4 年度には新型コロナウイルス感染症に対する行動制限が緩和されたことから、増加数・増加率ともに過去最高となった。

令和 5 年度は、増加数・増加率は増加傾向を維持し、国内観光客数が平成 31（令和元）年度と同水準まで回復し、外国人観光客数も回復傾向にある。

「浦添市観光振興計画」（2018 年 3 月）によると、浦添市の主要観光施設として国立劇場おきなわ、浦添市美術館、イベント等として、浦添でだこまつり、東京ヤクルトスワローズ春季キャンプ、沖展、てだこウォークがあげられている。

表 3.2.3-10 沖縄県の入域観光客の推移

年度	国内観光客 (人)	外国人観光客 (人)	合計 (人)	前年比伸び率 (%)
平成 30 年度	7,003,500	3,000,800	10,004,300	+4.4
平成 31 年度 (令和元年度)	6,978,800	2,490,400	9,469,200	-5.3
令和 2 年度	2,583,600	0	2,583,600	-72.7
令和 3 年度	3,274,300	0	3,274,300	+26.7
令和 4 年度	6,574,500	200,100	6,774,600	+106.9
令和 5 年度	7,269,100	1,263,500	8,532,600	+25.9

出典：平成 30 年度～令和 5 年度沖縄県入域観光客統計概況（沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課 HP）

3.2.4 土地利用

(1) 土地利用状況

浦添市、宜野湾市及び那覇市の利用区分別土地利用面積は、表 3.2.4-1 に示すとおりである。

3 市ともに宅地の占める割合が多く、浦添市では 60.8%、宜野湾市では 48.7%、那覇市では 73.6%となっている。

対象地域における土地利用状況は、図 3.2.4-1 に示すとおりである。

事業実施想定区域及びその周辺の主な土地利用状況については、防衛施設（牧港補給地区）、商業地区、業務地区、運輸流通施設、供給処理施設、工業地区となっている。国道 58 号より東側の主な土地利用については、商業地区、文教地区と住宅地域となっている。

表 3.2.4-1 利用区分別土地利用面積

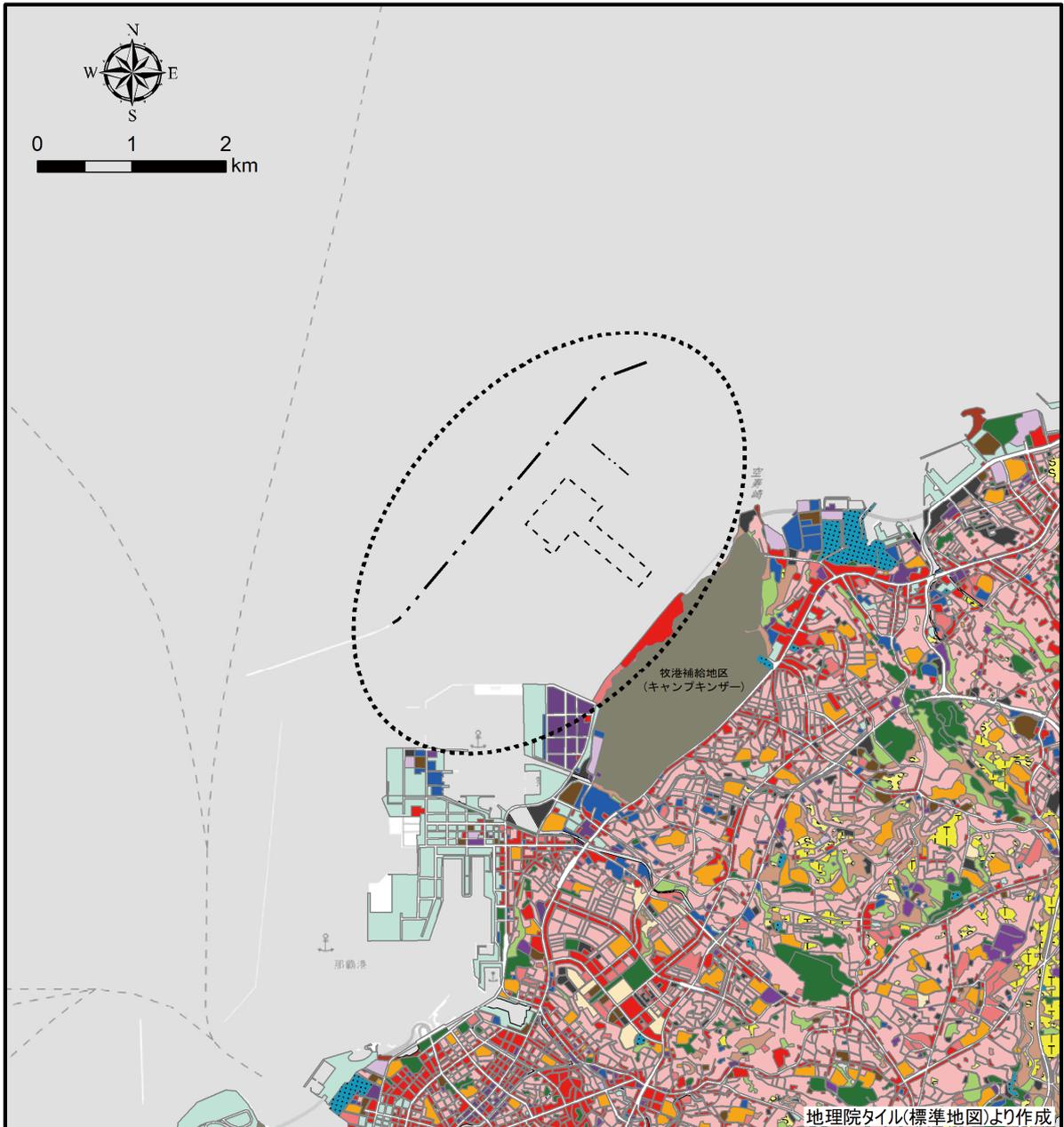
(令和 3 年 1 月 1 日現在)

市区	単位	総数	田	畑	宅地	山林	原野	その他
浦添市	面積 (ha)	1,193.7	-	42.9	725.5	-	63.5	361.8
	割合 (%)	100.0	-	3.6	60.8	-	5.3	30.3
宜野湾市	面積 (ha)	1,367.1	22.3	40.2	666.3	-	32.1	606.2
	割合 (%)	100.0	1.6	2.9	48.7	-	2.3	44.3
那覇市	面積 (ha)	2,176.4	-	15.4	1,602.1	5.6	17.0	536.3
	割合 (%)	100	-	0.7	73.6	0.3	0.8	24.6

注 1：国や地方公共団体の所有地等の非課税地籍は含まれていない。

注 2：数値は四捨五入した値のため、合計と総数の値は一致しない場合がある。

出典：第 66 回沖縄県統計年鑑（令和 5 年版）（沖縄県企画部統計課 HP）



凡例

出典：沖縄県土地利用現況図（沖縄県企画部県土・跡地利用対策課）
 沖縄本島中北部地域（宜野湾以北～名護市街地域） 平成19年3月発行
 沖縄本島南部地域（糸満市以北～浦添市以南地域） 平成18年3月発行

※自然的環境を保全する区域は除く

- 代替施設
- 防波堤
- 市町村界

一般住宅地域	運動競技施設	温室
中高層住宅地域	運輸流通施設	針葉樹林(天然林)
商業地区	供給処理施設	広葉樹林
業務地区	防衛施設	混交樹林
工業地区	空地	野草地
公共業務地区	改変工事中の地域	裸地
文教地区	田	道路
厚生地区	普通畑	海・ダム・池など
公園緑地	サトウキビ畑	

図 3.2.4-1 土地利用状況図

(2) 用途地域の指定状況

浦添市、宜野湾市及び那覇市における用途地域の指定状況は、表 3.2.4-2、対象地域における用途地域の指定状況は、図 3.2.4-2 に示すとおりである。

用途地域は、3市ともに住居系が最も多く、約76%～約80%を占めている。

事業実施想定区域の一部の区域は、商業地域、第二種中高層住居専用地域及び準工業地域に指定されている。なお、事業実施想定区域と国道58号との間にある牧港補給地区は用途地域の指定はない。

表 3.2.4-2 用途地域の指定状況

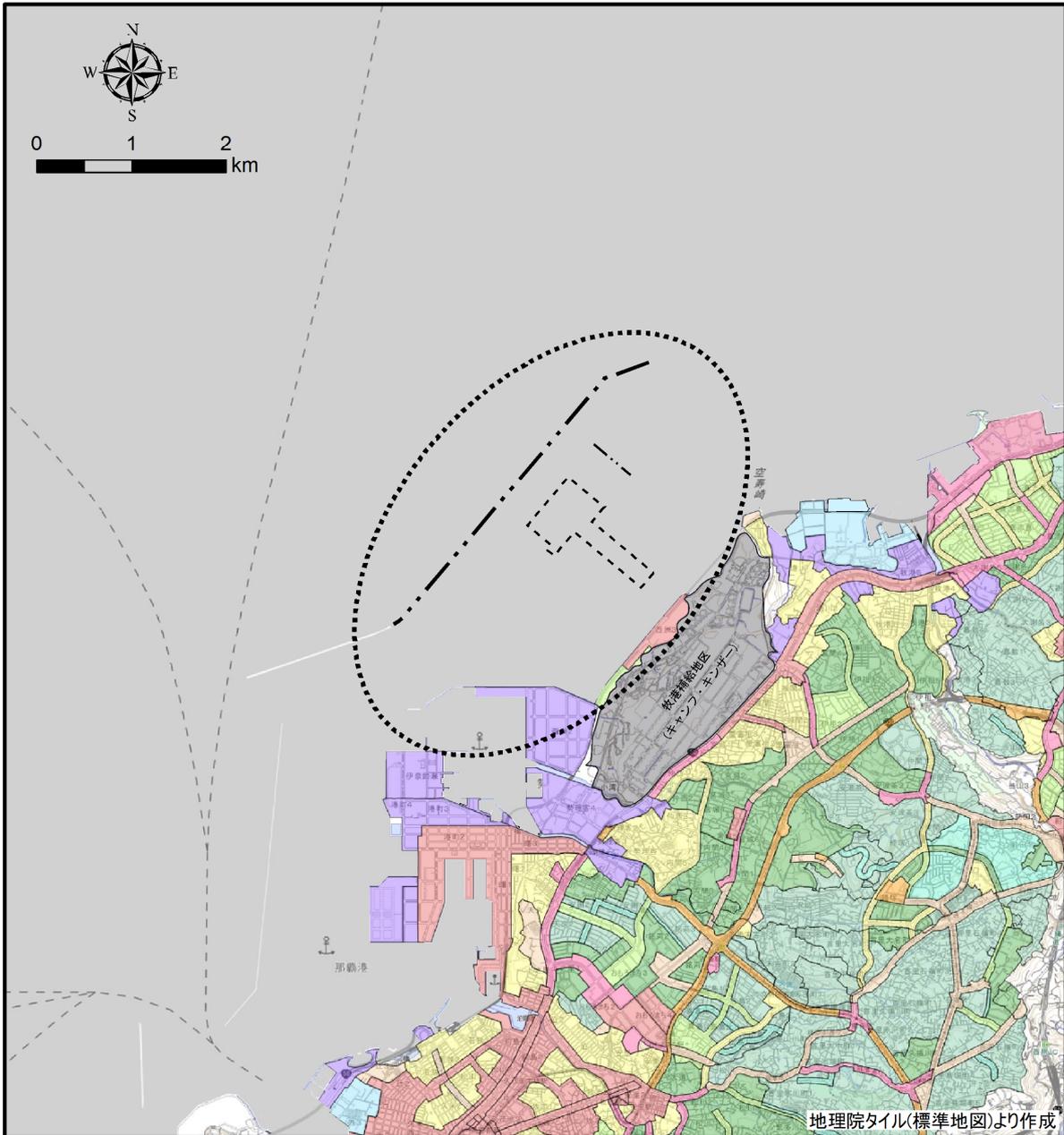
(令和3年3月31日現在)

地域区分		浦添市		宜野湾市		那覇市	
		面積(ha)	割合(%)	面積(ha)	割合(%)	面積(ha)	割合(%)
住居系	第一種低層住居専用地域	299.6	19.8	393.2	28.1	959.4	29.5
	第二種低層住居専用地域	73.3	4.8	0.0	0.0	59.3	1.8
	第一種中高層住居専用地域	341.0	22.5	351.1	25.1	626.6	19.3
	第二種中高層住居専用地域	57.1	3.8	115.9	8.3	166.8	5.1
	第一種住居地域	240.8	15.9	168.4	12.0	367.6	11.3
	第二種住居地域	98.3	6.5	30.2	2.2	155.9	4.8
	準住居地域	36.2	2.4	65.9	4.7	129.0	4.0
	小計	1,146.3	75.6	1,124.7	80.3	2,464.6	75.9
商業系	近隣商業地域	35.5	2.3	130.1	9.3	140.8	4.3
	商業地域	73.2	4.8	65.3	4.7	426.3	13.1
	小計	108.7	7.2	195.4	13.9	567.1	17.5
工業系	準工業地域	207.3	13.7	81.0	5.8	184.4	5.7
	工業地域	53.4	3.5	0.0	0.0	31.4	1.0
	工業専用地域	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	小計	260.7	17.2	81.0	5.8	215.8	6.6
合計		1,515.7	100.0	1,401.1	100.0	3,247.5	100.0

注1：都市計画区域名は那覇広域都市計画区域である。

注2：個別の割合は四捨五入した値のため、割合の総計と合計の値が一致しない場合がある。

出典：沖縄県土地利用規制現況図 説明書（令和5年3月 沖縄県）



地理院タイル(標準地図)より作成

凡例

- 事業実施想定区域
※自然的環境を保全する区域は除く
- 代替施設
- · · 防波堤
- · · · 市町村界

出典：沖縄県地図情報システム_都市計画総括図(用途地域)
(沖縄県企画部情報基盤整備課 HP)

- 第一種低層住居専用地域
- 第二種低層住居専用地域
- 第一種中高層住居専用地域
- 第二種中高層住居専用地域
- 第一種住居地域
- 第二種住居地域
- 準住居地域
- 近隣商業地域
- 商業地域
- 準工業地域
- 工業地域

図 3.2.4-2 用途地域の指定状況

(3) 土地利用基本計画

対象地域における土地利用基本計画は、図 3.2.4-3 に示すとおりである。

土地利用基本計画では対象地域全域が都市地域となっており、一部が森林地域となっている。また、全域が都市計画区域であり、市街化区域と市街化調整区域に区分されている。

事業実施想定区域の一部の区域は、市街化区域と市街化調整区域に区分されている。牧港補給地区は市街化調整区域に区分されている。

(4) 市街地、集落の規模及び分布状況

対象地域における人口集中地区は、図 3.2.4-4 に示すとおりである。

港湾区域、牧港補給地区及び一部地域を除いた広い範囲が人口集中地区（DID 地区）となっている。

(5) 基地の分布状況

浦添市、宜野湾市及び那覇市の米軍施設・区域及び自衛隊の施設の状況は、表 3.2.4-3 に示すとおりである。

浦添市には米軍施設・区域が存在し、自衛隊の施設は存在していない。浦添市の面積に占める米軍施設・区域面積の割合は 13.8%となっている。

宜野湾市には米軍施設・区域が存在し、自衛隊の施設は存在していない。宜野湾市の面積に占める米軍施設・区域面積の割合は 29.4%となっている。

那覇市には米軍施設・区域と自衛隊の施設が存在する。那覇市の面積に占める米軍施設・区域面積の割合は 1.4%、自衛隊の施設面積の割合は 8.2%となっている。

表 3.2.4-3 米軍施設・区域及び自衛隊の施設の状況

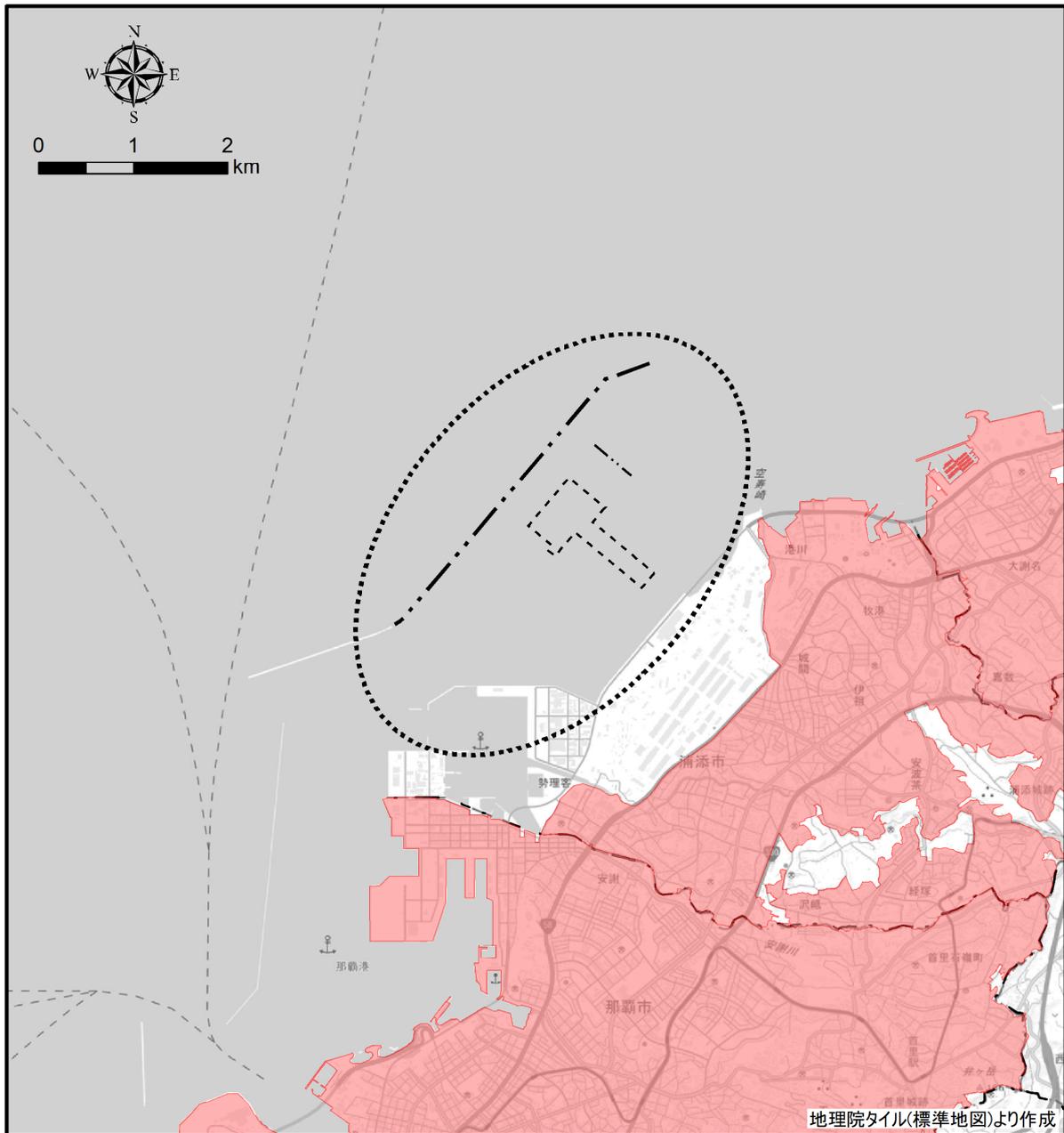
市区等	市町村面積		米軍施設・区域面積		自衛隊の施設面積	
	面積(ha)	割合(%)	面積(ha)	割合(%)	面積(ha)	割合(%)
浦添市	1,944	100.0	267.5	13.8	-	-
宜野湾市	1,980	100.0	582.1	29.4	-	-
那覇市	4,142	100.0	57.1	1.4	341.6	8.2
沖縄県	228,215	100.0	18,666.2	8.2	783.1	0.3

注1：表中の-は該当なしを示す。

注2：市町村面積は、国土地理院の資料(令和3年10月1日現在)による。

注3：施設面積は、沖縄防衛局の資料(令和4年3月末現在)による。

出典：沖縄の米軍及び自衛隊基地(統計資料集)(令和5年10月 沖縄県知事公室基地対策課)
在日米軍施設・区域(専用施設)面積(令和6年1月1日現在)(防衛省・自衛隊HP)



地理院タイル(標準地図)より作成

凡例

- 事業実施想定区域
- ※自然の環境を保全する区域は除く
- 代替施設
- · · 防波堤
- · · · 市町村界
- 人口集中地区

出典：国土数値情報（DID 人口集中地区）
（令和2年 国土交通省国土政策局）

図 3.2.4-4 人口集中地区の分布状況

3.2.5 水利用

(1) 河川及びダムの利用状況

対象地域を流れる主要な河川を表 3.2.5-1 及び図 3.2.5-1 に示す。
対象地域には二級河川が 8 河川存在する。

表 3.2.5-1 主要な河川の概要

指定状況	地域	水系名	河川名	指定延長(m)	流域面積(km ²)	
二級河川	浦添市	牧港川	牧港川	3,300	15.17	
		小湾川	小湾川	4,300	4.83	
	宜野湾市	牧港川	宇地泊川	6,000	8.05	
	那覇市	安里川	潮渡川	潮渡川	1,000	0.50
			久茂地川	久茂地川	2,000	3.25
			真嘉比川	真嘉比川	1,400	2.30
			安里川	安里川	7,260	8.57
		安謝川	安謝川	5,200	8.10	

出典：令和 5 年度沖縄県水防計画（沖縄県土木建築部海岸防災課 HP）

(2) 海域の利用状況

1) 港湾、漁港区域

港湾区域の指定状況は、表 3.2.5-2 及び図 3.2.5-2 に示すとおりであり、対象地域においては、重要港湾に指定されている那覇港、地方港湾の宜野湾港が存在する。

また、漁港区域の状況は、表 3.2.5-3 及び図 3.2.5-2 に示すとおりであり、対象地域においては、3 つの漁港が存在する。

表 3.2.5-2 港湾区域の指定状況

港湾名	指定	管理者	所在地	面積(ha)	指定年月日
那覇港	重要港湾	那覇港 管理組合	那覇市・浦添市	3,400	昭和 47 年 5 月 15 日 (重要港湾指定)
宜野湾港	地方港湾	沖縄県	宜野湾市	58	昭和 59 年 3 月 9 日

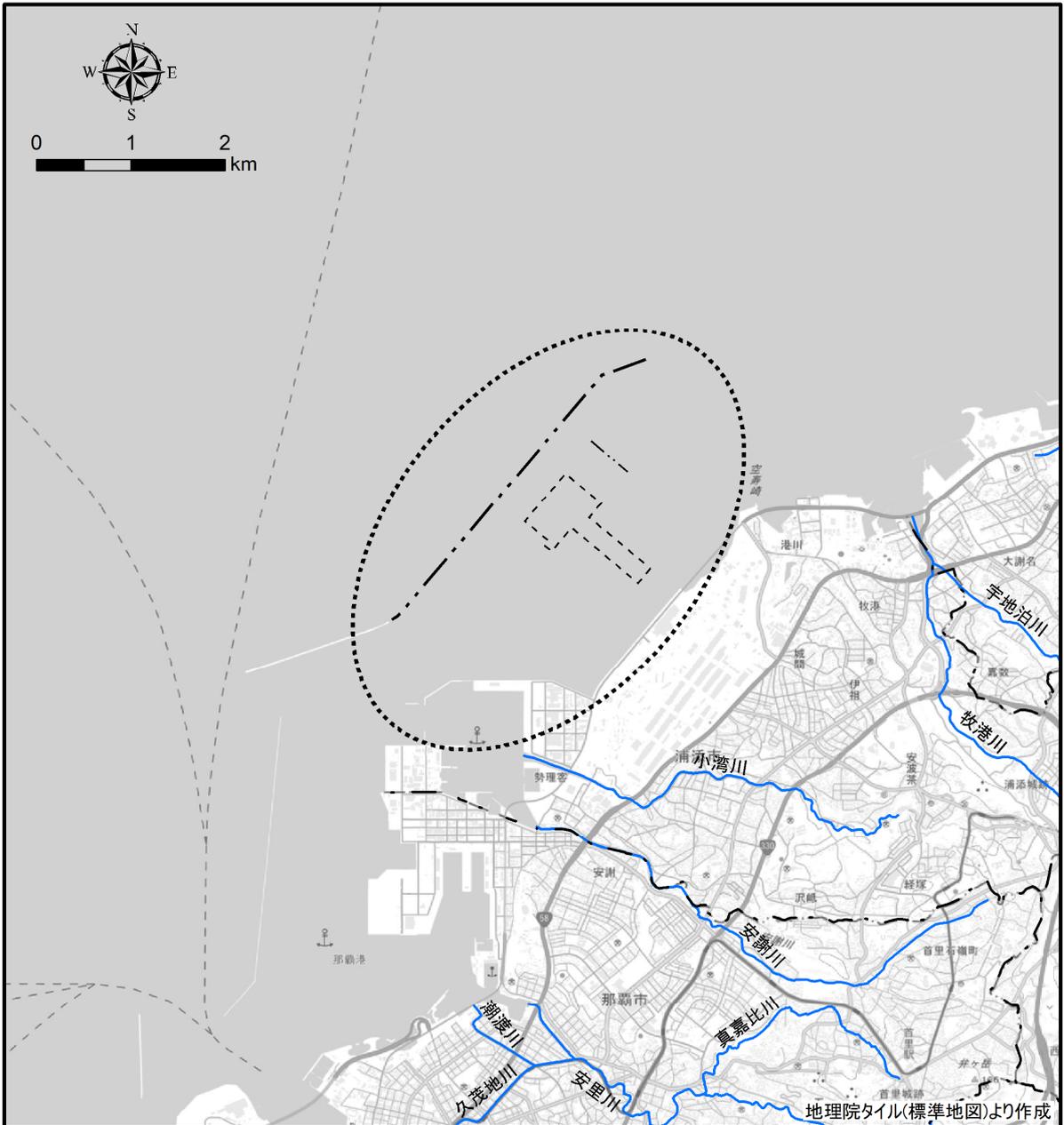
出典：沖縄の港湾（沖縄県土木建築部港湾課 HP）

表 3.2.5-3 漁港区域の指定状況

漁港名	所在地	指定年月日	管理者
牧港漁港	浦添市	昭和 52 年 3 月 31 日	浦添市
宜野湾漁港	宜野湾市	昭和 63 年 3 月 31 日	沖縄県
泊漁港	那覇市	昭和 42 年 10 月 6 日	沖縄県

出典：県管理漁港一覧表（令和 6 年 1 月 11 日更新）（沖縄県農林水産部漁港漁場課 HP）

市町村管理漁港一覧表（令和 6 年 1 月 11 日更新）（沖縄県農林水産部漁港漁場課 HP）

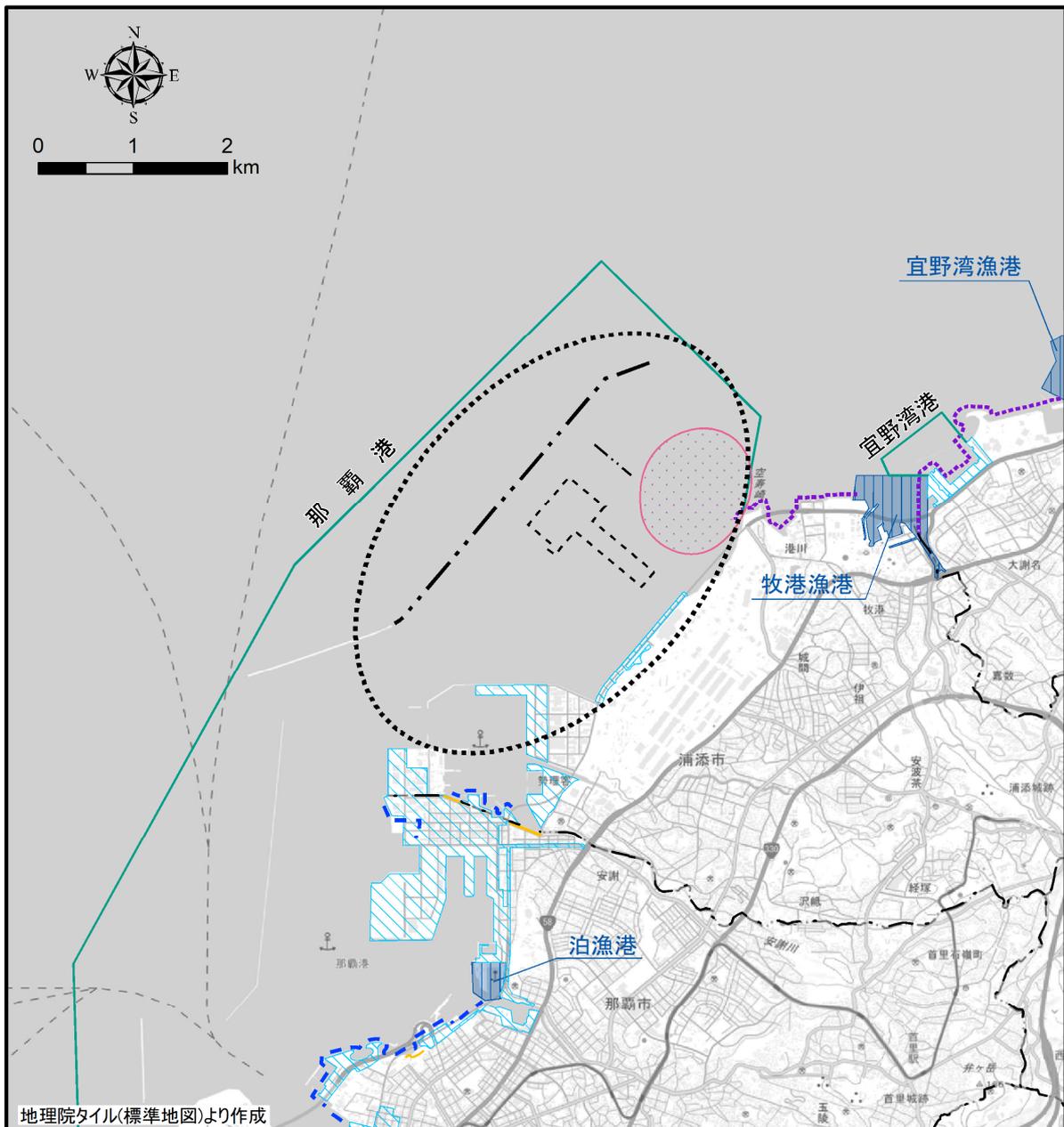


凡例

- 事業実施想定区域
- ※自然的環境を保全する区域は除く
- 代替施設
- · · 防波堤
- · · 市町村界
- 二級河川

出典：国土数値情報ダウンロードサイト（河川）
 （令和6年4月時点 国土交通省国土政策局国土情報課 HP）
 沖縄本島中南部 利水現況図（平成元年3月、沖縄県）

図 3.2.5-1 河川の分布状況



凡例

- 事業実施想定区域
 ※自然の環境を保全する区域は除く
- 代替施設
- 防波堤
- 市町村界
- 港湾局所管
- 河川局所管
- 港湾区域
- 港湾隣接地域
- 臨港地区
- 漁港区域
- 自然の環境を保全する区域
 (那覇港港湾計画)

出典：那覇港港湾計画図(令和5年3月改訂)(那覇港管理組合 HP)
 沖縄県土地利用規制現況図(令和5年4月)(沖縄県企画部県土・跡地利用対策課 HP)
 沖縄県地図情報システム(沖縄県企画部情報基盤整備課 HP)

図 3.2.5-2 港湾及び漁港位置図

2) 漁業区域

対象地域の漁業権の設定状況は、表 3.2.5-4 及び図 3.2.5-3 に示すとおりである。

対象地域においては浦添宜野湾漁業協同組合、那覇地区漁業協同組合及び那覇市沿岸漁業協同組合を漁業権者とする共同漁業権の共同第 15 号が設定されている。

表 3.2.5-4 漁業権の免許の状況

(令和 5 年 9 月 1 日免許交付)

漁業権番号	漁業権者	漁業の名称	漁場の位置
共同第 15 号	浦添宜野湾漁業協同組合 那覇地区漁業協同組合 那覇市沿岸漁業協同組合	ウニ漁業	宜野湾市と北谷町との境界線 から那覇市と豊見城市との境 界線により囲まれた沿岸水域
		イセエビ漁業	
		セミエビ漁業	
		ゾウリエビ漁業	
		ナマコ漁業	
		タコ漁業	
		シャコガイ漁業	
		ヒロセガイ漁業	
		タカセガイ漁業	
		ヤコウガイ漁業	
		マガキガイ漁業	
		サザエ漁業	
		固定式刺網漁業	
		かご網漁業	

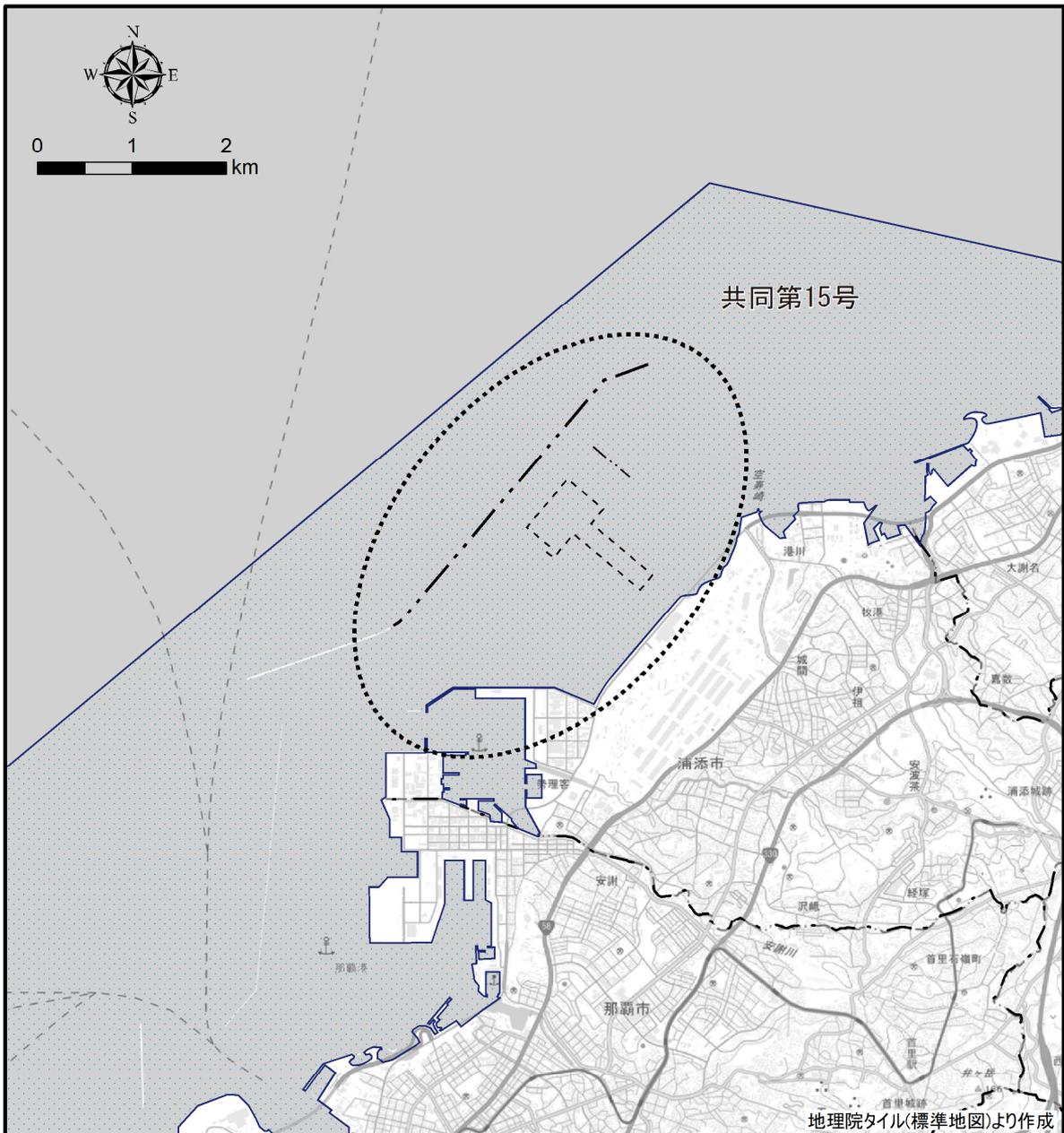
備考：漁業権存続期間 令和 5 年 9 月 1 日から令和 15 年 8 月 31 日まで。

出典：漁業権について(漁業権の説明及び免許の状況)(沖縄県農林水産部水産課 HP)

3) 自然的環境を保全する区域

対象地域には、図 3.2.5-2 に示すとおり、「那覇港港湾計画書-改訂-」(令和 5 年 3 月 那覇港港湾管理者那覇港管理組合)の中で設定された自然的環境を保全する区域が存在する。

この区域は、浦添ふ頭地区の北側海域及び自然海浜において、人と自然が共生する良好な港湾環境の形成を図るため、設定されている。



凡例

- 事業実施想定区域
※自然的環境を保全する区域は除く
- 代替施設
- 防波堤
- 市町村界
- 漁業権の設定された漁場

出典：漁業権について(漁業権の説明及び免許の状況)
(沖縄県農林水産部水産課 HP)

図 3.2.5-3 漁業権設定区域図

(3) 上水の利用状況

浦添市、宜野湾市及び那覇市の水道事業の概要は、表 3.2.5-5 に示すとおりである。

浦添市においては、給水人口が 115,112 人、普及率が 100%、給水量（受水量・配水量）が約 1,394 万 m³、一日最大配水量が 44,938m³となっている。

宜野湾市においては、給水人口が 99,757 人、普及率が 100%、給水量（受水量・配水量）が約 1,086 万 m³、一日平均配水量が 29,765m³となっている。

那覇市においては、給水人口が約 312,507 人、普及率が 100%、給水量（受水量・配水量）が約 3,737 万 m³、一日最大配水量が約 113,576m³となっている。

対象地域の配水区（配水系統）は、表 3.2.5-6 及び図 3.2.5-4 に示すとおりであり、事業実施想定区域内の一部は、沢岬配水区にかかる。

表 3.2.5-5 水道事業の概要

項目	浦添市	宜野湾市	那覇市
	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 4 年度
行政区域内人口(人)	115,112	99,757	312,507
給水人口(人)	115,112	99,757	312,507
普及率(%)	100.0	100.0	100.0
給水戸数(戸)	53,382	-	169,574
給水量(受水量・配水量)(m ³)	13,939,724	10,864,228	37,372,357
一日最大配水量(m ³)	44,938	(平均)29,765	113,576
有収水量(m ³)	13,237,863	10,443,879	35,602,371
無収水量(m ³)	305,772	130,356	765,964
有収率(%)	95.00	97.33	95.26

注 1：有収水量とは、浄水場で作られた水道水のうち、水道料金の対象になった分の水量を示す。

注 2：無収水量とは、料金徴収の対象とならないが、有効に利用された水量（管洗浄、消火栓など）。

「無収水量」＝「有効水量」－「有収水量」

注 3：有収率とは、配水する水量と料金として収入のあった水量との比率で、算出式は以下のとおりとなる。

「計画有収率」＝「計画 1 日平均有効有収水量」÷「計画 1 日平均配水量」

出典：統計うらそえ第 55 号令和 4 年版（浦添市企画部企画課 HP）

令和 5 年版宜野湾市統計書第 36 回 第 7 章上・下水道（宜野湾市企画制作課 HP）

上下水道局事業概要 令和 4 年度（那覇市上下水道局 HP）

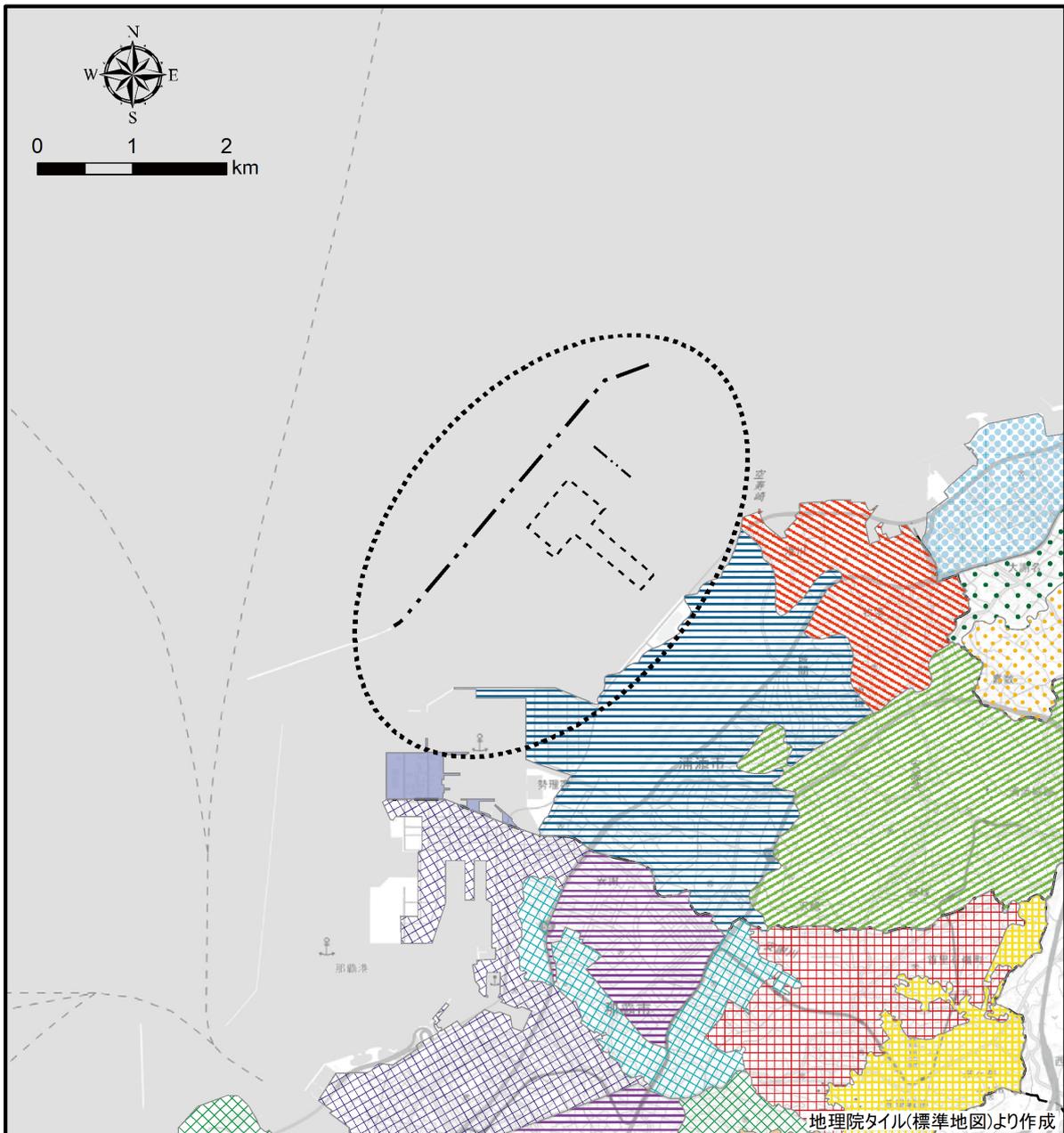
表 3.2.5-6 対象地域の配水区（配水系統）一覧

市	配水区	市	配水区	
浦添市	沢岬配水区	那覇市	前田第 2 調整池系	
	浦仲配水区		新川配水池	
	前田配水区		真地配水池系	
宜野湾市	長田第 2 配水池給水区域		上間調整池系	
	喜友名配水池給水区域		大名調整池系	
	大山配水池給水区域		安里配水池系	
				泊配水池系

出典：平成 30 年度水道事業統計年報（令和 2 年 3 月 浦添市水道部）

令和 4 年度水道事業統計年報（令和 5 年 9 月 宜野湾市上下水道局）

上下水道局事業概要 令和 4 年度（那覇市上下水道局 HP）



凡例

- 事業実施想定区域
※自然の環境を保全する区域は除く
- 代替施設
- 防波堤
- 市町村界

浦添市

- 沢岬配水区
- 浦仲配水区
- 前田配水区

宜野湾市

- 喜友名配水池給水区域
- 大山配水池給水区域
- 長田第2配水池給水区域

那覇市

- 前田第2調整池系
- 新川配水池系
- 真地配水区
- 上間配水区
- 大名調整池系
- 安里配水池系
- 泊配水池系

出典：平成 30 年度水道事業統計年報（令和 2 年 3 月 浦添市水道部）
 令和 4 年度水道事業統計年報（令和 5 年 9 月 宜野湾市上下水道局）
 上下水道局事業概要 令和 4 年度（那覇市上下水道局 HP）

図 3.2.5-4 配水区域図

(4) 地下水の利用状況

対象地域の主要な井戸と湧水による地下水の状況は表 3.2.5-7 及び図 3.2.5-5 に示すとおりである。

対象地域には、農業用井戸が 11 件、工業用井戸が 11 件、農業用湧水が 6 件、及びその他用湧水が 20 件分布している。

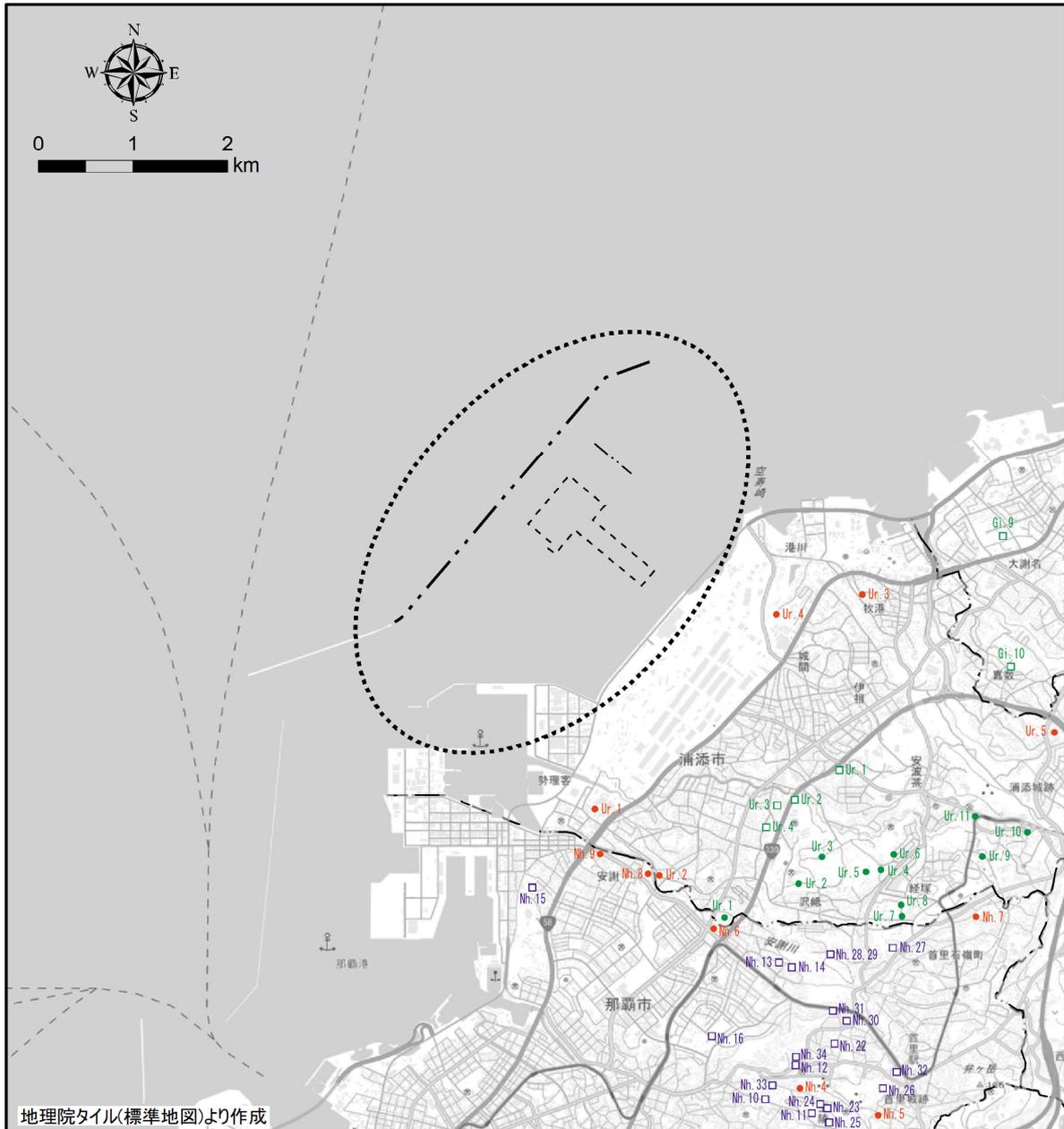
なお、事業実施想定区域には、井戸及び湧水の分布は見られない。

表 3.2.5-7 井戸及び湧水の状況

市区	主要井戸（件）				主要湧水（件）			
	農業用	水道用	工業用	その他用	農業用	水道用	工業用	その他用
浦添市	11	-	5	-	4	-	-	-
宜野湾市	-	-	-	-	2	-	-	-
那覇市	-	-	6	-	-	-	-	20
合計	11	-	11	-	6	-	-	20

注：表中の-は該当なしを示す。

出典：沖縄県主要水系調査書（沖縄本島中南部地域）（平成元年 3 月 沖縄県企画開発部土地利用対策課）



凡例

注：図中の番号は、出典資料より引用。

- 事業実施想定区域
 ※自然的環境を保全する区域は除く
- 代替施設
- 防波堤
- 市町村界
- 主要井戸**
 - 農業用井戸
 - 工業用井戸
- 主要湧水**
 - 農業用湧水
 - その他用湧水

出典：沖縄県主要水系調査書（沖縄本島中南部地域）
 （平成元年 3 月 沖縄県企画開発部土地利用対策課）

図 3.2.5-5 井戸及び湧水の分布状況

3.2.6 交通

(1) 道路の整備状況

対象地域の主要な道路の整備状況は、図 3.2.6-1 に示すとおりである。

南北方向に一般国道 58 号と一般国道 330 号が並行しており、これらの国道を基軸として、東西方向に県道 38 号浦添西原線及び県道 82 号那覇糸満線が、国道に並行して県道 251 号那覇宜野湾線が走っている。那覇港浦添ふ頭地区臨港道路浦添線は海岸線に沿って南北方向に走っており、事業実施想定区域に近接している。

(2) 自動車交通量

対象地域に分布する道路における自動車交通量の状況は表 3.2.6-1 に示すとおりである。

対象地域を通る一般国道 58 号では、51,571～64,508 台/24 時間、一般国道 330 号では 33,049～70,296 台/24 時間となっている（斜体で示した交通量は推計値である。）。

表 3.2.6-1(1) 自動車交通量

番号	路線名	交通量観測 地点地名	24 時間自動車類交通量 (上下合計) (台)
1	一般国道 58 号	宜野湾市大謝名	57,465
2		浦添市城間	57,324
3		浦添市屋富祖	51,571
4		那覇市天久	64,508
5		那覇市旭町	53,639
6	一般国道 58 号 (宜野湾バイパス)	宜野湾市大山	50,810
7	一般国道 58 号 (那覇西道路)	那覇市鏡水	26,496
8	一般国道 58 号 (浦添北道路)	浦添市港川	31,425
9	一般国道 330 号	浦添市仲間	70,296
10		浦添市沢岨	63,611
11		那覇市真嘉比	42,864
12		那覇市寄宮	33,049
13	県道 29 号線那覇北中城線	那覇市安里	16,879
14		那覇市安里	23,665
15		那覇市松川	18,946
16		那覇市首里山川町	11,761
17		那覇市首里池端町	11,627
18		那覇市首里汀良町	22,361
19		那覇市首里石嶺町	15,677
20	県道 38 号線浦添西原線	浦添市城間	9,660
21		浦添市屋富祖	8,480
22		浦添市安波茶	20,174
23	県道 82 号線那覇糸満線	那覇市銘苅	31,509
24		那覇市古島	30,649
25		那覇市首里赤平町	34,824
26		那覇市首里崎山町	39,794
27	県道 28 号線	那覇市首里儀保町	8,301
28	宜野湾西原線	宜野湾市大謝名	27,353
29	県道 39 号線	那覇市安里	9,723
30	県道 43 号線	那覇市若狭	11,066
31	県道 46 号線	那覇市寄宮	17,489

注：斜体で示した交通量は推定値である。

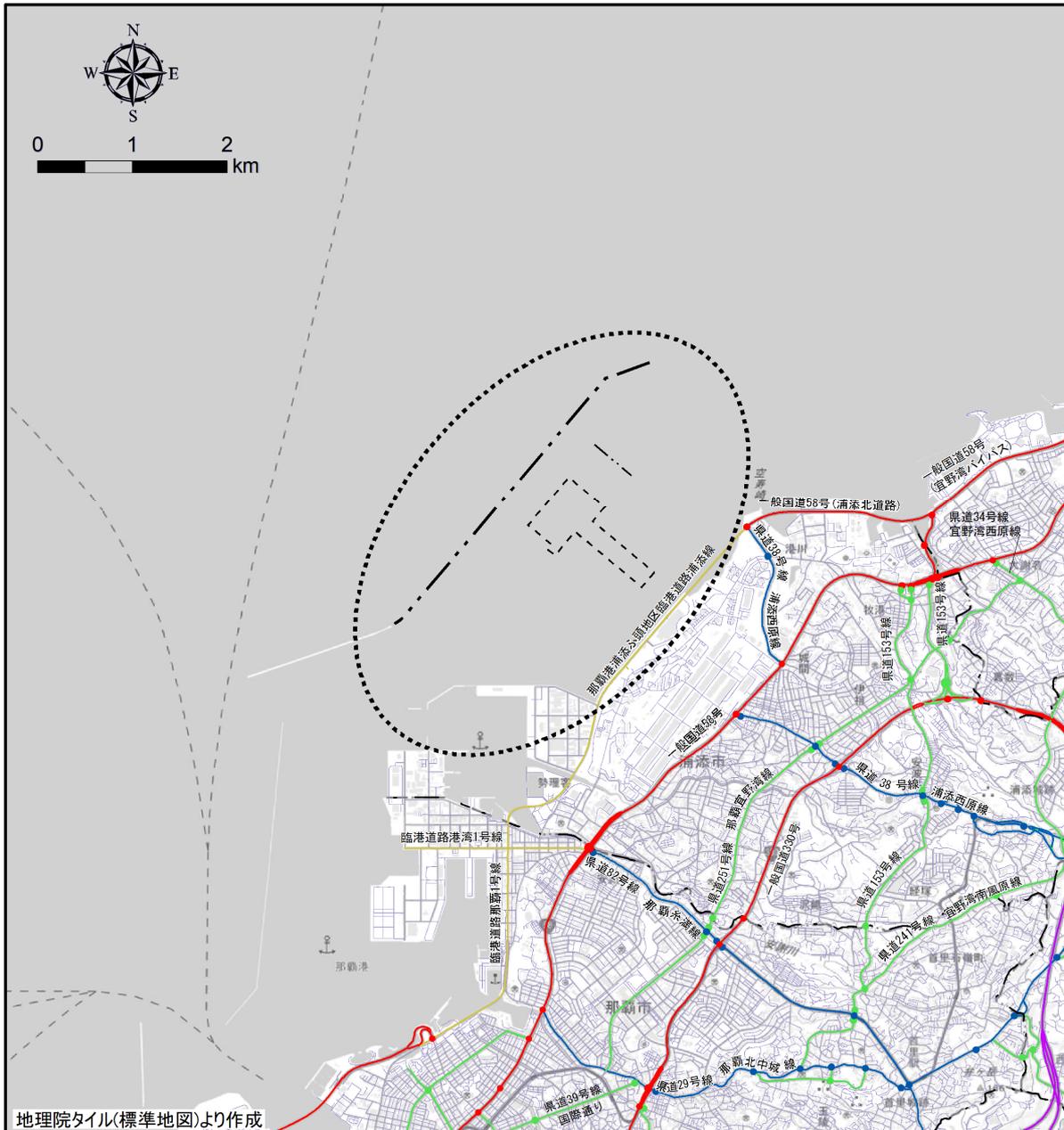
出典：令和 3 年度全国道路・街路交通情勢調査（国土交通省道路局企画課 HP）

表 3.2.6-1(2) 自動車交通量

番号	路線名	交通量観測 地点地名	24 時間自動車類交通量 (上下合計) (台)
32	県道 47 号線	那覇市久米	5,562
33	県道 49 号線	那覇市首里真和志町	4,199
34	県道 50 号線	那覇市首里金城町	2,506
35	県道 153 号線	那覇市首里大名町	11,548
36		浦添市牧港	32,949
37	県道 155 号線	那覇市首里石嶺町	7,528
38	県道 241 号線 宜野湾南風原線	那覇市首里石嶺町	14,886
39	県道 251 号線 那覇宜野湾線	那覇市銘苅	15,424
40		浦添市内間	12,692
41		浦添市伊祖	16,005
42		浦添市牧港	11,915

注：斜体で示した交通量は推定値である。

出典：令和 3 年度全国道路・街路交通情勢調査（国土交通省道路局企画課 HP）



凡例

- 事業実施想定区域
※自然的環境を保全する区域は除く
- 代替施設
- · · 防波堤
- · · 市町村界
- 沖縄自動車道
— 那覇空港自動車道
- 一般国道
- 一般都道府県等
- 主要地方道(都道府県道)
- 市区町村道
- その他

出典：
 沖縄県の道路 2023（沖縄県土木建築部道路街路課 HP）
 沖縄ぬ道 2023（沖縄県土木建築部道路街路課 HP）
 沖縄西海岸道路の事業概要（内閣府沖縄総合事務局 HP）
 令和3年度全国道路・街路交通情勢調査 一般交通量調査結果 WEB
 マップ（可視化ツール）（国土交通省 HP）

図 3.2.6-1 道路の整備状況

(4) モノレール

対象地域における沖縄都市モノレールの状況は、表 3.2.6-2 及び図 3.2.6-3 に示すとおりであり、那覇空港駅からだこ浦西駅までの 17km 区間が運行されている。

沖縄都市モノレールの乗客数は、令和 2 年度、令和 3 年度は低水準であったが、令和 4 年度以降は増加に転じ、令和 5 年度は平成 31（令和元）年度と同水準にまで回復している。

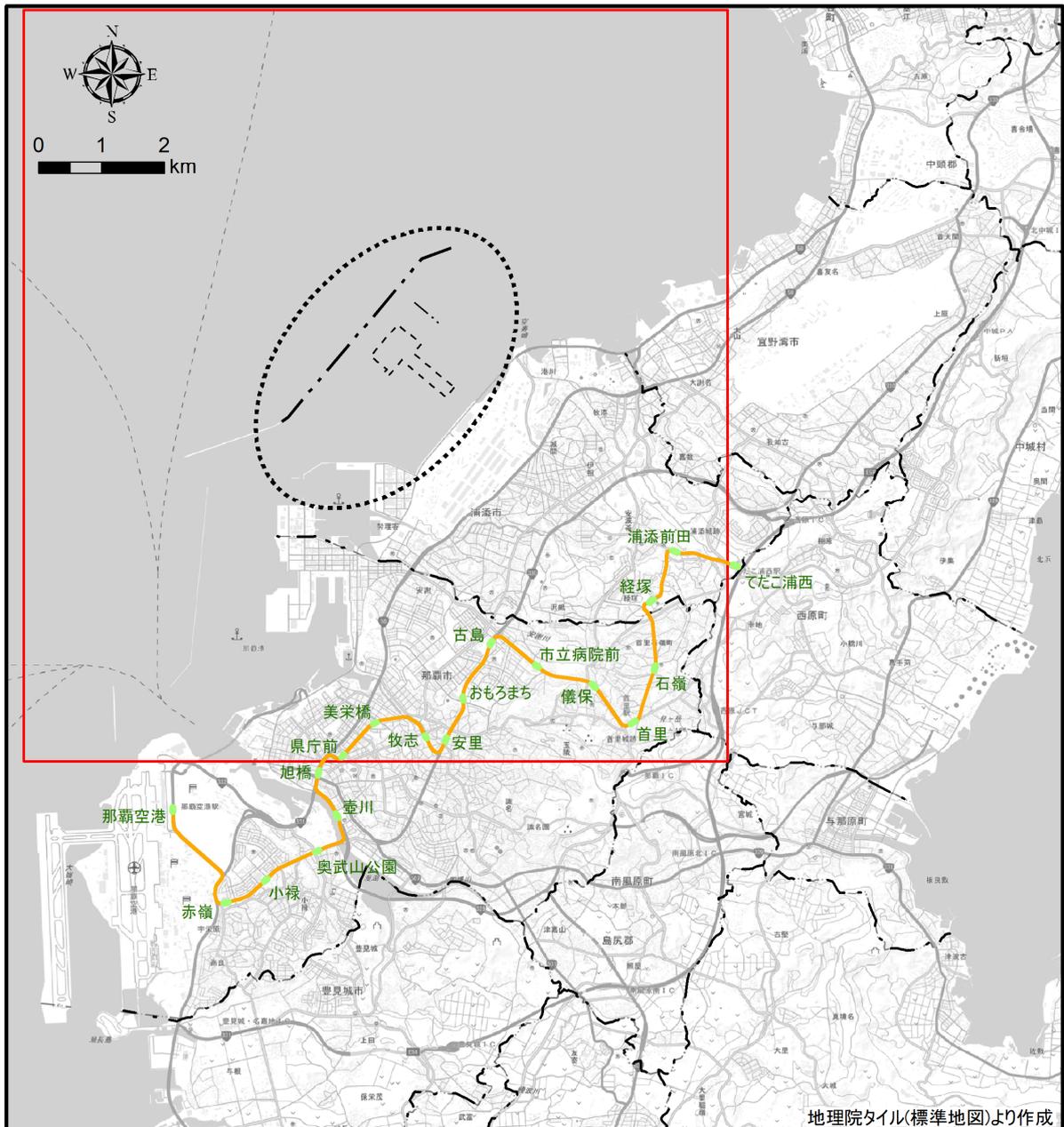
表 3.2.6-2 沖縄都市モノレール乗客数

区分	単位	平成 31 年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
年間乗客 人数	人/年	19,756,806	10,935,990	11,775,824	16,908,907	19,948,279
1 日平均	人/日	55,766*	30,044	32,263	46,326	54,803

※：算出方法を変更している。(既存 15 駅/日+延長 4 駅/日)

出典：沖縄都市モノレール/乗客数の推移（令和 6 年 3 月末日現在）

（沖縄県土木建築部都市計画・モノレール課 HP）



地理院タイル(標準地図)より作成

凡例

備考：モノレールの区間全体表示のため、広域図で示した。

- 事業実施想定区域
※自然の環境を保全する区域は除く
- 代替施設
- · · · 防波堤
- · · · 市町村界
- 対象地域
- 沖縄都市モノレール
- 駅

出典：ゆいレール 路線図（沖縄都市モノレール株式会社 HP）
 国土数値情報ダウンロードサイト（鉄道）
 （国土交通省国土政策局国土情報課 HP）

図 3.2.6-3 沖縄都市モノレール路線図

(5) 海上交通の状況

那覇港の入港船舶数は、表 3.2.6-3 に示すとおりである。

総隻数は令和 4 年に 7,857 隻となっており、その大部分を国内が占めている。

総トン数は令和 4 年に約 2,558 万 t であり、令和 3 年に比べ隻数は減少したものの、総トン数は増加がみられる。

那覇港の船舶乗降人員数は、表 3.2.6-4 に示すとおりである。

合計乗降人員数は令和 4 年に約 47 万人となっており、令和 2 年以降減少傾向がみられたが、増加に転じている。

那覇港を出入する定期航路及び不定期航路の状況は、表 3.2.6-5 に示すとおりである。県外航路は、東京、名古屋、大阪、神戸、瀬戸内、北九州、博多、鹿児島間で運行されている。県内航路は、先島、周辺離島間で運行されている。国外航路は、北米、中国、アジア、東南アジア（台湾）間で運行されている。

表 3.2.6-3 那覇港入港船舶数

年次	隻数（隻）			トン数（t）		
	総数	国外	国内	総数	国外	国内
平成 30 年	8,236	833	7,403	46,662,697	31,105,922	15,556,775
平成 31 年 (令和元年度)	8,729	834	7,895	50,631,950	34,125,170	16,506,779
令和 2 年	8,386	571	7,815	27,286,105	9,952,584	17,333,521
令和 3 年	7,912	516	7,396	24,516,560	7,319,984	17,196,576
令和 4 年	7,857	432	7,425	25,584,088	7,047,672	18,536,416

出典：那覇港の統計（令和 4 年 那覇港管理組合 HP）

表 3.2.6-4 那覇港船舶乗降人員数

年次	合計（人）	外国航路 （人）	内国航路（人）		
			計	県外	県内
平成 30 年	1,830,094	1,217,201	612,893	58,637	554,256
平成 31 年 (令和元年度)	1,971,533	1,347,776	623,757	59,417	564,340
令和 2 年	411,972	76,595	335,377	28,019	307,358
令和 3 年	320,527	0	320,527	25,942	294,585
令和 4 年	470,186	0	470,186	38,017	432,169

注：表中の人数は、乗込人員と上陸人員の合計値である。

出典：那覇港の統計（令和 4 年 那覇港管理組合 HP）

表 3.2.6-5 那覇港を入出港する定期航路・不定期航路一覧

区分		寄港地			
国内航路	東京	那覇-大阪-東京-大阪-那覇		定期	
		那覇-中城-大阪-東京-大阪-那覇		定期	
		那覇-本部-大阪-東京-大阪-那覇		定期	
		那覇-志布志-油津-東京-(名古屋)-油津-那覇		定期	
	名古屋	那覇-名古屋-豊橋(愛知)-鹿児島-那覇		不定	
	大阪	那覇-大阪-那覇		定期/不定	
		那覇-大阪-鹿児島-那覇		定期	
		那覇-玉島(岡山)-大阪-那覇		定期	
		那覇-名瀬-志布志-大阪-志布志-名瀬-那覇		定期	
	神戸	那覇-志布志-大阪-神戸-大阪-志布志-那覇		定期	
	瀬戸内	那覇-呉(広島)-三島川之江(愛媛)-高松(香川)-新居浜(愛媛)-那覇		定期	
	北九州	那覇-ひびき(福岡)-那覇		定期	
	博多	那覇-博多-那覇		定期	
		那覇-伊予三島(愛媛)-博多-那覇		定期	
		那覇-鹿児島-博多-鹿児島-那覇		定期	
		那覇-中城-博多-那覇		定期	
	鹿児島	那覇-鹿児島-那覇		定期	
		那覇-博多-鹿児島-那覇		定期	
		那覇-本部-与論-和泊(沖永良部)-亀徳(徳之島)-名瀬(奄美)-鹿児島-名瀬-亀徳-和泊-与論-本部-那覇		定期	
	県内	先島	那覇-石垣-那覇		定期
			那覇-石垣-与那国-那覇		定期
			那覇-平良-那覇		定期
			那覇-平良-石垣-那覇		定期
			那覇-平良-石垣		定期
		周辺離島	那覇-阿嘉-座間味-阿嘉-那覇		定期
			那覇-渡嘉敷-那覇		定期
那覇-粟国-那覇			定期		
那覇-渡名喜-兼城(久米島)-渡名喜-那覇			定期		
那覇-北大東島・南大東島-那覇			定期		
国外航路	北米	ロサンゼルス(サンペドロ)-オークランド-横浜-那覇-釜山-青島-上海-釜山-ロサンゼルス(サンペドロ)		定期	
		ロングビーチ-ホノルル-アプラ(グアム)-那覇-寧波-上海-ロングビーチ		定期	
	中国	上海-大阪-神戸-那覇-上海		定期	
	アジア	ダバオ(フィリピン)-那覇-(博多)-(神戸)-ダバオ(フィリピン)		定期	
	東南アジア(台湾)	※先島航路の延長 那覇-平良-石垣-高雄-那覇-博多-鹿児島-那覇		定期	
		※先島航路の延長 那覇-平良-石垣-(厦門)-(高雄)-那覇-平良-石垣-那覇		定期	
		那覇-志布志-細島-松山-大分-釜山-八代-那覇-基隆-台中-高雄-那覇		定期	

注：寄港地の()は不定港を示す。< >は国名、県名または島名を示す。

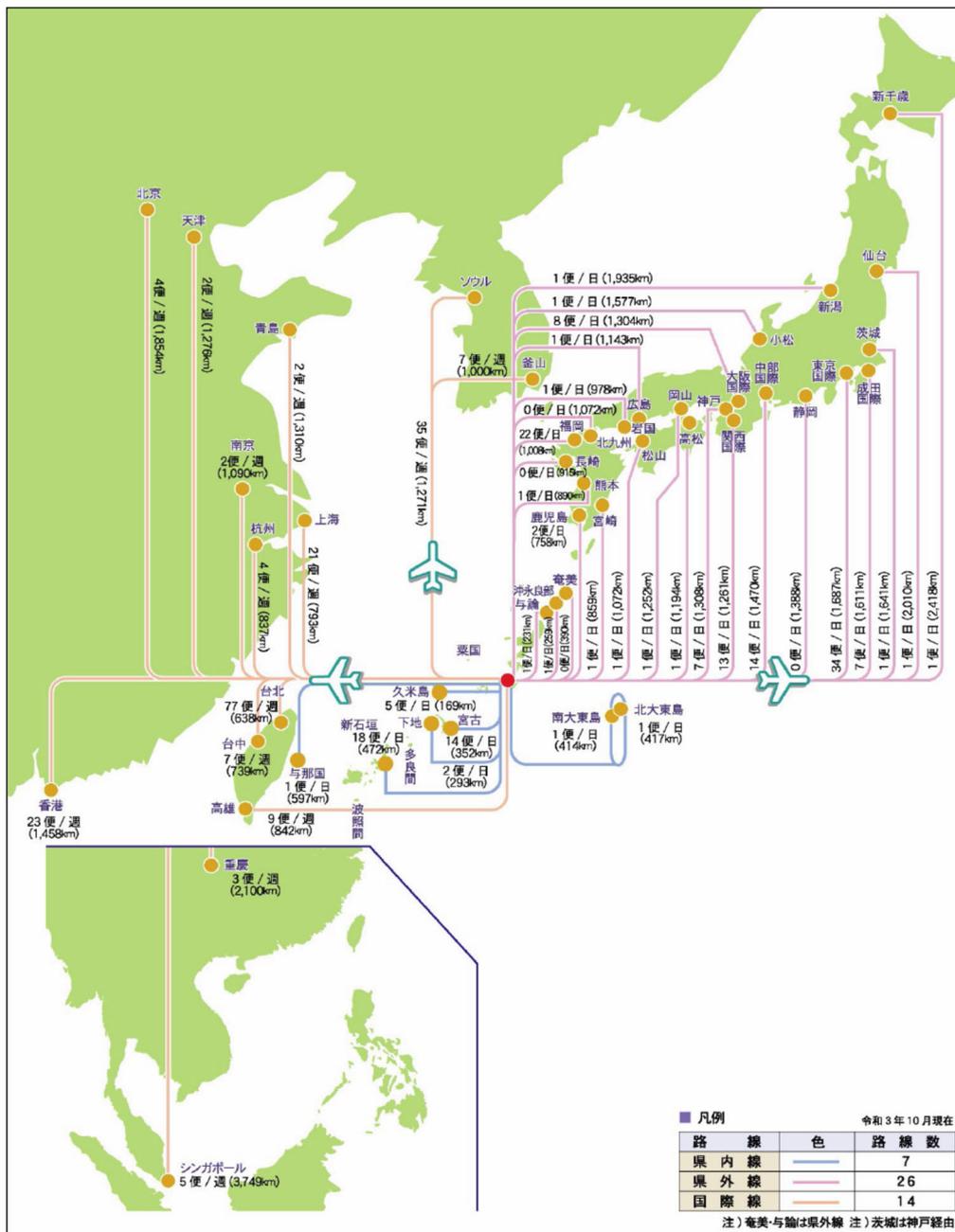
出典：那覇港を入出する定期航路・不定期航路一覧(令和5年3月28日現在 那覇港管理組合HP)

(6) 航空交通の状況

那覇空港の航路及び利用状況は、図 3.2.6-4 及び表 3.2.6-6～表 3.2.6-8 に示すとおりである。

航路は、県内線 7 路線、県外線 26 路線、国際線 14 路線、合計で 47 路線が運行している。

航空機の着陸回数は、令和 4 年度は 73,450 回であり、平成 31（令和元）年度に近い値にまで増加している。乗降客数は、令和 4 年度は国内線乗客数が平成 31（令和元）年度に近い値まで増加しており、国内線、国外線を合わせた乗客数は約 1,600 万人である。貨物取扱量は、令和 4 年度は約 19 万 t であり、令和 2 年度で大幅な減少がみられたが、令和 3 年度以降増加傾向がみられる。



出典：NAHA Airport

(令和 4 年 3 月作成 内閣府沖縄総合事務局開発建設部那覇空港プロジェクト室 HP)

図 3.2.6-4 那覇空港航空路線図

表 3.2.6-6 那覇空港航空機着陸回数 of 状況

年度	着陸回数 (回)		
	国際線	国内線	計
平成 29 年度	11,889	71,325	83,214
平成 30 年度	12,805	69,158	81,963
平成 31 年度 (令和元年度)	11,060	68,234	79,294
令和 2 年度	68	50,229	50,297
令和 3 年度	136	59,091	59,227
令和 4 年度	1,533	71,917	73,450

出典：暦年・年度別空港管理状況調書 (H25～R4)
(国土交通省航空局航空ネットワーク企画課 HP)

表 3.2.6-7 那覇空港の乗降客数 of 状況

年度	乗降客数 (人)		
	国際線	国内線	計
平成 29 年度	3,636,922	17,524,761	21,161,683
平成 30 年度	3,913,399	17,633,981	21,547,380
平成 31 年度 (令和元年度)	3,149,051	17,464,568	20,613,619
令和 2 年度	487	6,588,217	6,588,704
令和 3 年度	3,678	7,994,473	7,998,151
令和 4 年度	408,546	15,820,837	16,229,383

出典：暦年・年度別空港管理状況調書 (H25～R4)
(国土交通省航空局航空ネットワーク企画課 HP)

表 3.2.6-8 那覇空港の貨物取扱量 of 状況

年度	貨物取扱量 (t)						合計
	国際線			国内線			
	積	卸	小計	積	卸	小計	
平成 29 年度	99,315	80,735	180,050	93,697	127,466	221,163	401,213
平成 30 年度	58,588	61,586	120,174	86,939	122,224	209,163	329,337
平成 31 年度 (令和元年度)	48,903	51,121	100,024	83,813	119,541	203,354	303,378
令和 2 年度	363	783	1,146	66,653	93,513	160,166	161,312
令和 3 年度	597	1,178	1,775	70,307	99,211	169,518	171,293
令和 4 年度	437	847	1,284	77,059	106,675	183,734	185,018

出典：暦年・年度別空港管理状況調書 (H25～R4) (国土交通省航空局航空ネットワーク企画課 HP)